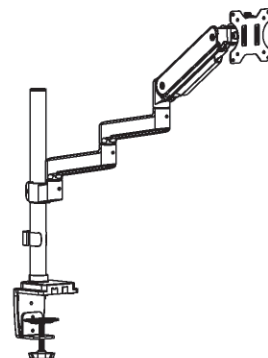


ロングモニターアームMS BMA-1MS

取扱説明書



※小さなお子様のご使用になる場合は※
保護者の方が当取扱説明書をよくお読みになり、使用中はお子様につき添ってください。

本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品をご使用の際は必ず本書をお読みいただき、ご理解の上、正しくご使用ください。また、お読みいただいた後も、この説明書は大切に保管してください。

本製品はモニター用アームとして使用されることを目的としています。
それ以外の目的で使用しないでください。

FOR USE IN JAPAN ONLY

使用者は、必ずこの取扱説明書の内容を理解してからご使用下さい。
Read this instruction manual and make sure you thoroughly understand its contents before using this product.

品質表示

型番	BMA-1MS
構造部材	金属（スチール、アルミニウム合金）、ABS樹脂、ポリメチルペンテン、シリコーンゴム
表面加工	エポキシ樹脂塗装
原産国	中国
耐荷重	アーム：2kg以上、10kg以下



注意

傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される内容を示しています。

組み立てのご注意

- 組み立ておよび設置は大人2人以上で行ってください。
- 組み立てる前に各部品に不足や不具合がないかご確認ください。
不足や不備があった場合は、直ちに組み立てを中止してください。
- けがや汚れを防止するため、必ず手袋を着用して組み立ておよび設置を行ってください。
- 組み立て時は、床や壁、他の家具の傷を防止するために敷物を敷いてください。
- ネジ・ボルトの取り付け前に、ネジ・ボルト穴の異物をきれいに取り除いてください。
- ネジ・ボルトは最初からきつく締めないでください。まず全てのネジ・ボルトを仮締めし、きちんと組み合わさったことを確認してから、最後にしっかりとネジ・ボルトを固定してください。
- 全てのパーツを正しく取り付けてください。
- 製品の使用前に、各部品がしっかりと固定されていることをご確認ください。

⚠ 使用上のご注意

- 本製品のいずれかの部品にひび・破損などの異常が生じた場合は直ちに使用を中止してください。けがをするおそれがあります。
- 本製品は水平で安定する面に取り付けてご使用ください。破損やけがをするおそれがあります。
- 本製品の耐荷重は、2kg以上、10kg以下です。取り付けるモニターが軽すぎると、アームの位置が固定できないため、必ず耐荷重内のモニターを取り付けてください。
- 本製品にぶら下がったり、もたれたりしないでください。破損やけがをするおそれがあります。
- 事前にアームの可動範囲をお確かめのうえ、本製品の設置場所をご検討ください。壁や人にぶつかると、破損やけが、モニターの故障につながるおそれがあります。
- 本製品に取り付けたモニターを動かす際は、必ず両手で操作してください。片手で無理に動かそうとすると、アームの関節部や固定部、またはモニターが破損するおそれがあります。
- アームを動かす際、デスク天板上よりも外側の位置で使用しないでください。デスクが転倒し、破損やけがをするおそれがあります。
- 本製品は多くの関節部により構成されています。ご使用の際は、関節部に指などを挟まないよう十分ご注意ください。小さなお子様が使用する場合や、近くにいる場合は特にご注意ください。
- 本製品の使用にあたり生じた、周辺機器および物品の破損・故障等の問題については、弊社にて補償いたしかねます。本製品を正しく使用している際に生じた場合でも同様ですので、予めご了承ください。
- 本製品には滑り止めとしてシリコンゴムが使用されています。デスク天板の表面処理によっては移染するおそれがあります。

■ メンテナンス・廃棄方法

- 各パーツに破損や異常がないか、定期的に製品全体を点検してください。破損や異常が認められた場合は、直ちに使用を中止してください。
- ボルト・ネジや各パーツに緩みがないか、定期的に製品全体を点検してください。緩みがある場合は、しっかりと固定し直してください。
- 本製品が濡れたり湿ったりした場合は、直ちに乾いた布で水分を十分に拭き取り、風通しの良い日陰でよく乾かしてください。濡れたまま放置しておくと、サビや臭気の原因となります。
- 本製品を廃棄の際は、各地方自治体の廃棄区分に従って廃棄してください。

【製品のお手入れ方法】

- 本製品を清掃する際はアルコール・ベンジン・磨き粉などは使用しないでください。変色や変形の原因となります。
- 本製品を清掃する際は、柔らかい布で乾拭きしてください。
- 本製品を水拭きする場合は、固く絞った柔らかい布で拭き上げ、直射日光が当たらない風通しの良い場所で十分に乾燥させてください。湿気が残っていると、劣化やサビの原因となります。

■ 組立前にお読みください



注意

確実な組み立てのため、ネジ・ボルトを取り付ける際はまず手で回して取り付けてください。ネジ穴に正しいネジ・ボルトが真っ直ぐ入ったことを確認し、全ての部品を組み合わせてから最後にドライバー・レンチでしっかりと増し締めしてください。

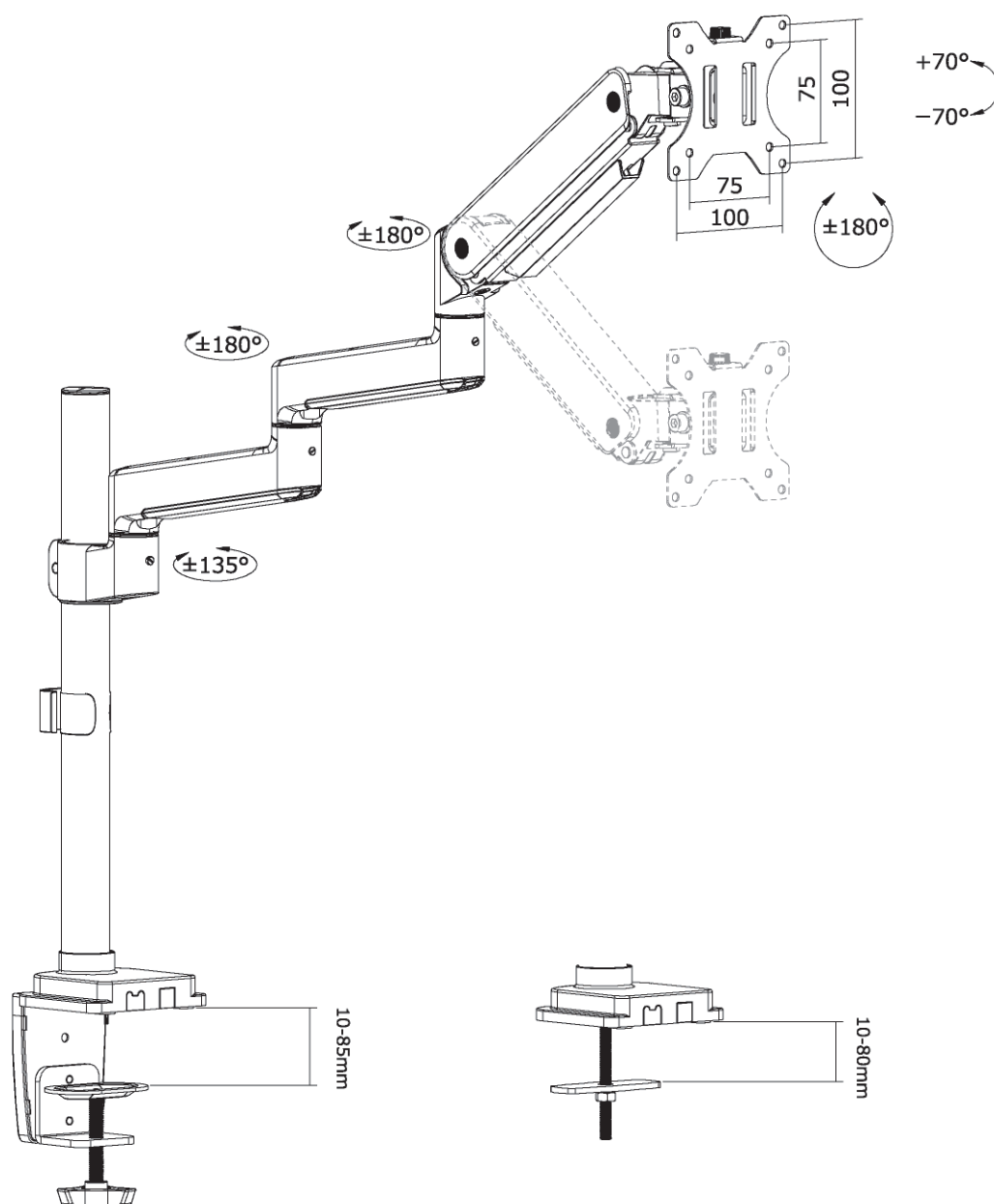
最初にきつくネジ・ボルトを締めてしまうと、後から組み立てる部品においてネジ・ボルトとネジ穴位置が合わなくなることがあります。

無理な力で斜めにねじ込むとネジ穴がつぶれネジ・ボルトが入らなくなります。

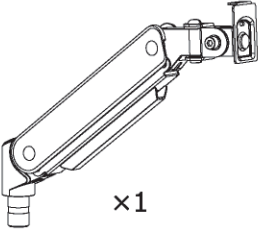
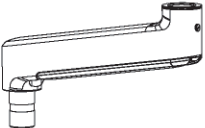
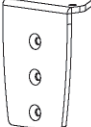
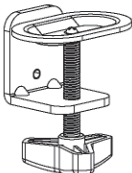
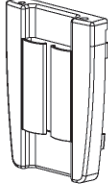
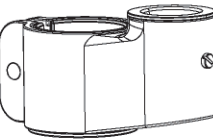
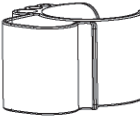
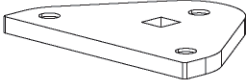
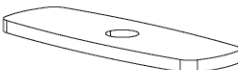
また、誤ったネジ・ボルトを使用すると製品が破損する場合があります。

※誤った組立方法にて製品が破損した場合は、製品保証の対象外となりますのでご注意ください。

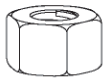
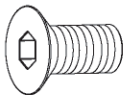
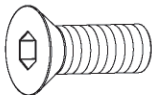
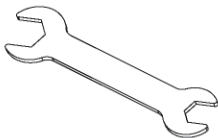
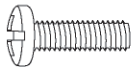
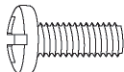
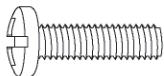
■ 全体図



部品・付属品

A	アーム①	B	ボール	C	アーム②
 ×1		 ×1		 ×2	
D	VESAプレート	E	ベース	F	クランプマウント
 ×1		 ×1		 ×1	
G	クランプベース	H	クランプマウントカバー	I	グロメットベース用ボルト
 ×1		 ×1		 ×1	
J	アーム基部	K	ケーブルクリップ	L	VESAプレート固定ノブ
 ×1		 ×1		 ×1	
M	グロメット用マウント	N	グロメットベース	O	グロメット用ワッシャー
 ×1		 ×1		 ×1	

■ 部品・付属品

P	グロメットボルト固定ナット	Q	滑り止めパッド	R	クランプマウント固定ボルト M6×10mm (黒)
					
×1		×4		×2	
S	ベース固定ボルト M6×12mm (銀)	T	ポール固定ボルト M6×16mm (黒)	U	六角レンチ 4mm (マイナスドライバー付き)
					
×3		×3		×1	
V	六角レンチ 6mm	W	レンチ		
					
×1		×1			
M-A	VESA用ボルト(A) M4×12mm	M-B	VESA用ボルト(B) M4×16mm	M-C	VESA用ボルト(C) M5×12mm
					
×4		×4		×4	
M-D	VESA用ボルト(D) M5×16mm	M-E	ワッシャーA	M-F	ワッシャーB
					
×4		×4		×4	

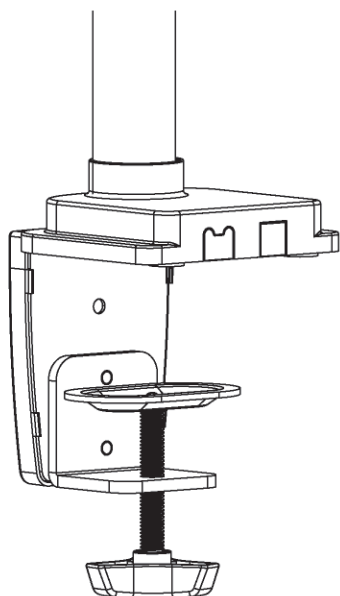
■ 組み立てる前に

本製品は2種類の方法でデスクに固定することができます。

■ クランプ方式 → 5ページへ

クランプでデスクを挟み込んで固定する方法です。

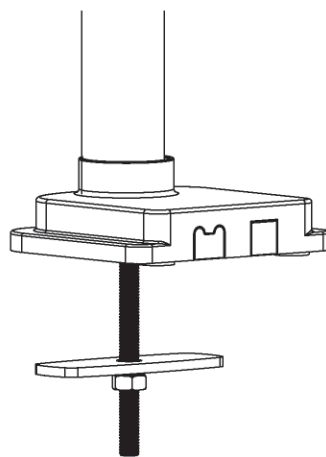
対応天板厚 10～85mm
取付に必要な天板奥行き 60mm



■ グロメット方式 → 7ページへ

デスクに穴を開け、スクリーを通して固定する方法です。

対応天板厚 10～80mm

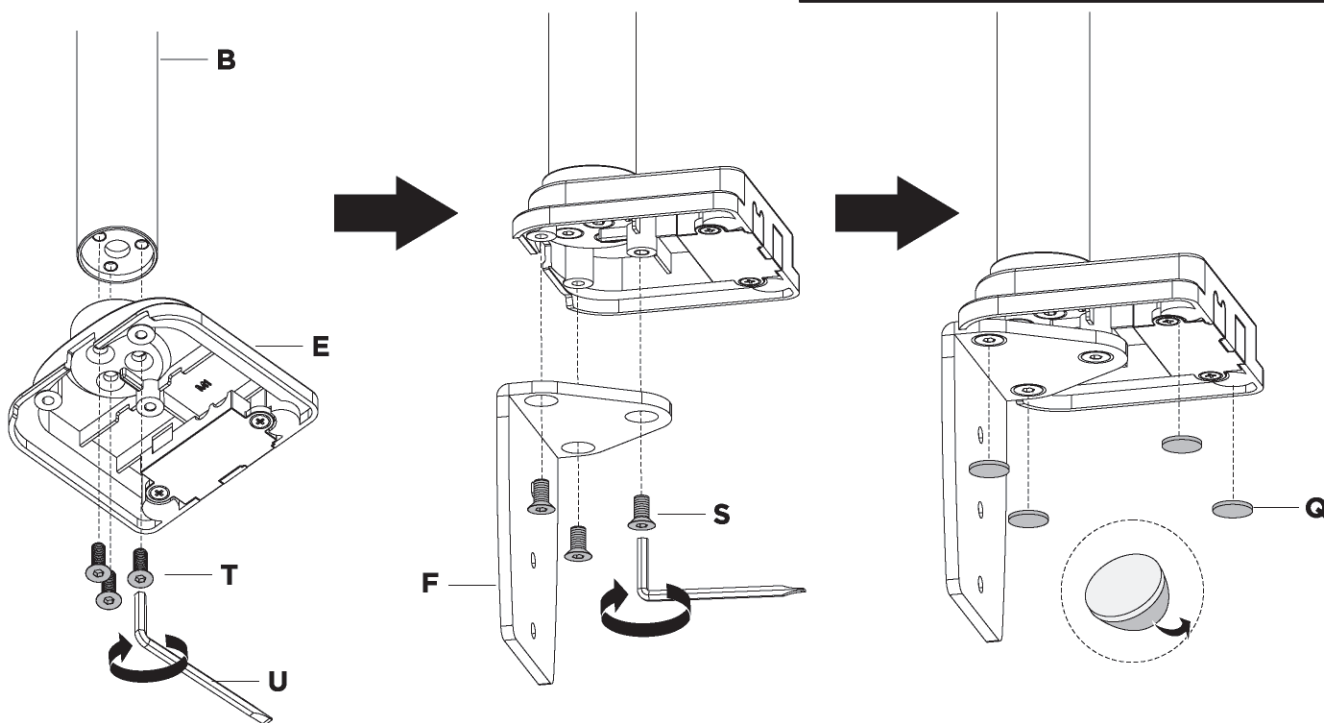
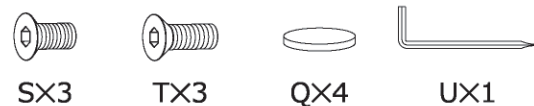


7
ページへ

■ 組み立て手順

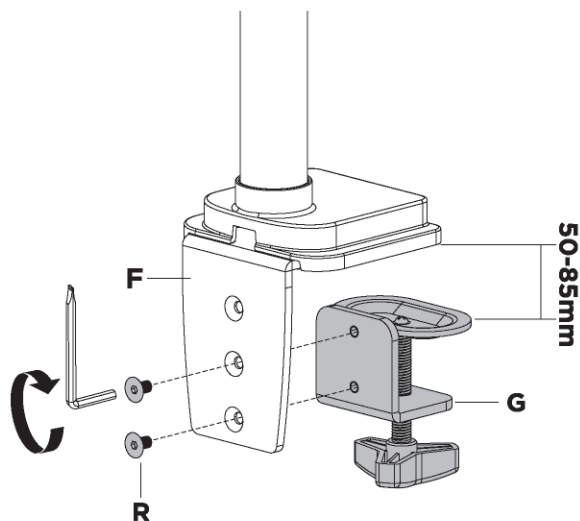
I. クランプ方式で固定する場合

- 1 (B)ポールを(E)ベースに(T)ポール固定ボルトを使用して固定します。次に(F)クランプマウントを(E)ベースに(S)ベース固定ボルトで固定します。次に(Q)滑り止めパッドの台紙を剥がし、下図を参考にしてベースに貼り付けてください。

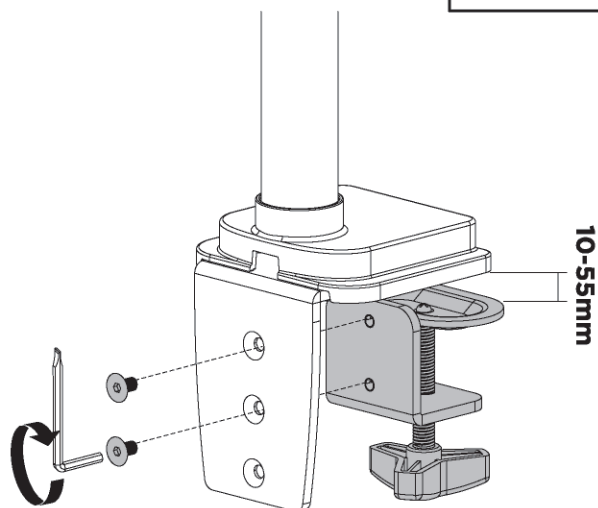


- 2 (F)クランプマウントに(G)クランプベースを(R)クランプマウント固定ボルトで固定してください。この際、取り付ける天板の厚みを確認してからどちらに固定するか決めてください。

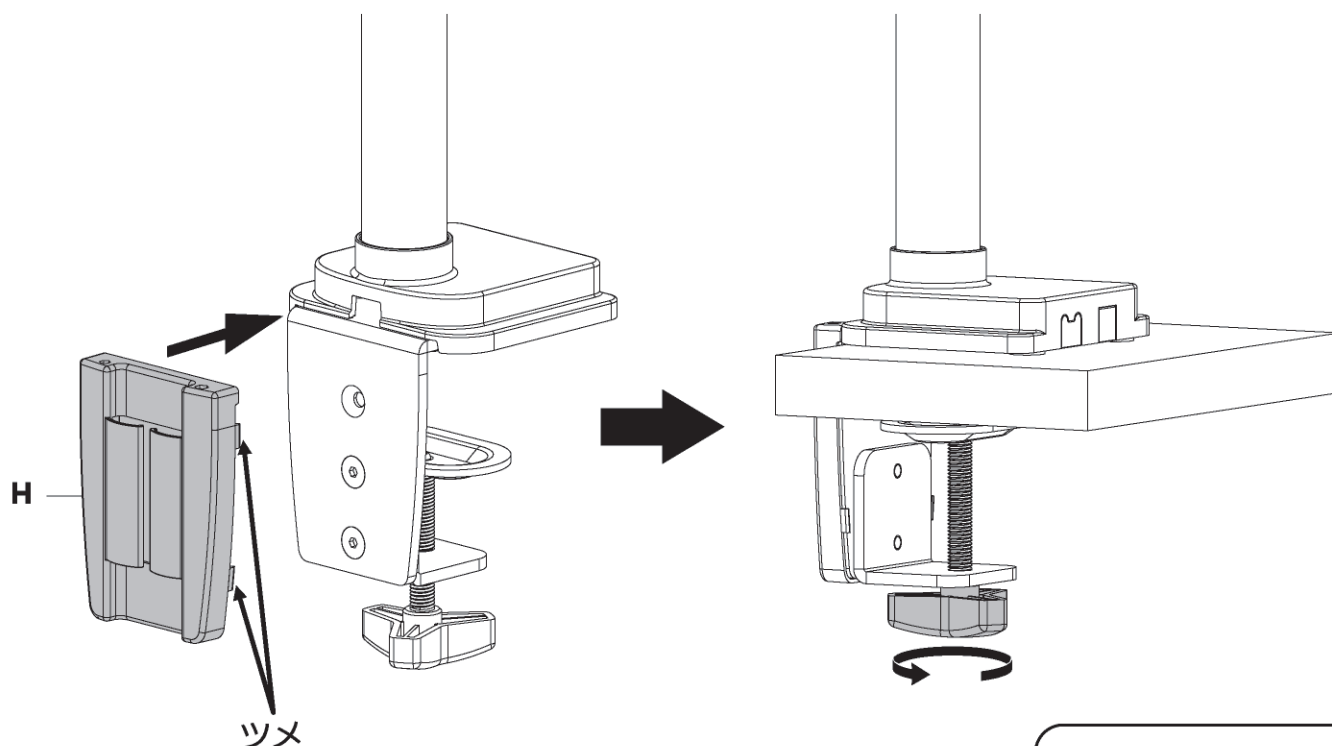
天板厚が50～85mmの場合
下側のネジに固定



天板厚が10～55mmの場合
上側のネジに固定



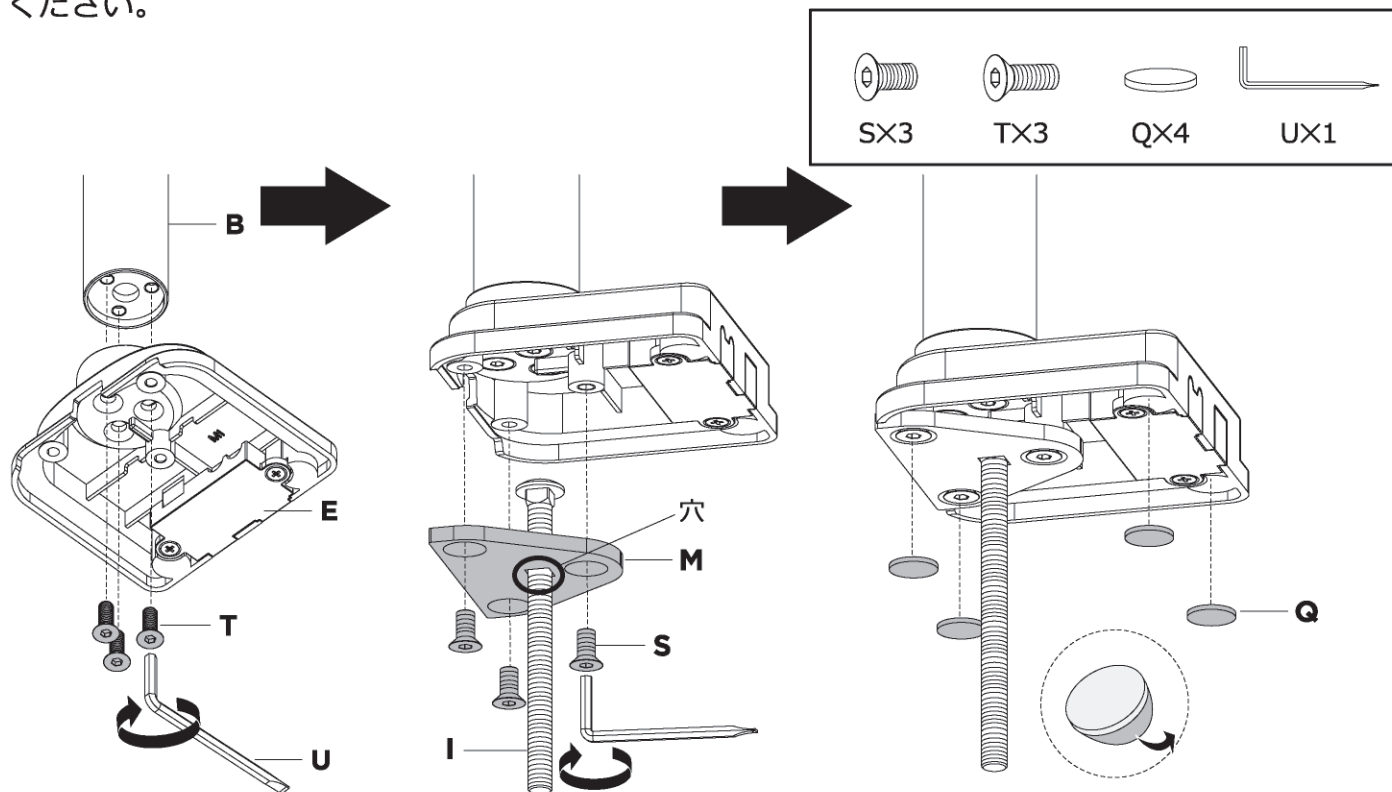
- 3 (H)クランプマウントカバーをクランプベースに押し込み取り付けてください。カバーの4箇所のツメで固定されていることを確認してから、天板に取り付けてクランプをしっかりと締めてデスクに固定してください。



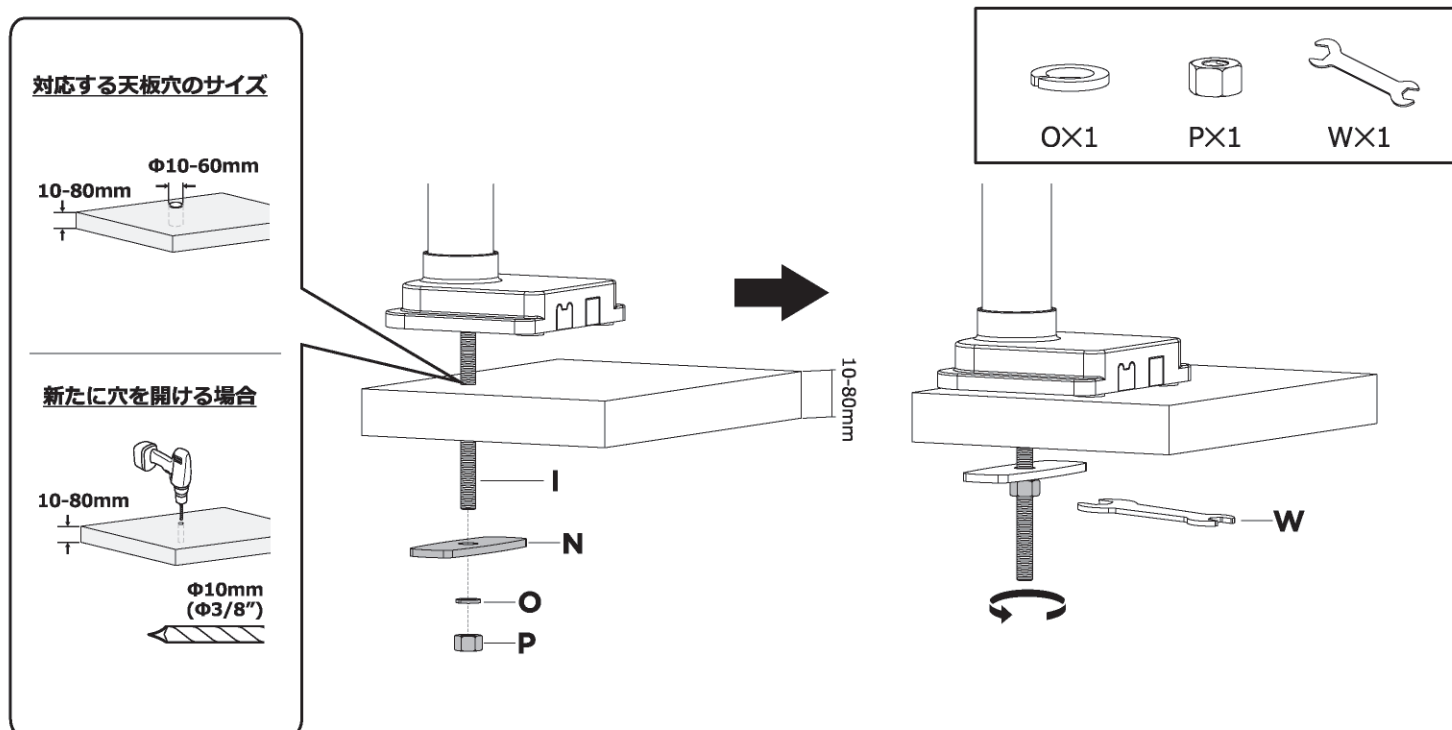
手順 6 へ→

Ⅱ. グロメット方式で固定する場合

- 4 (B)ポールを(E)ベースに(T)ポール固定ボルトを使用して固定します。次に(I)グロメットベース用ボルトを(M)グロメット用マウント中心の穴に通してから、(E)ベースに(S)ベース固定ボルトで固定します。次に(Q)滑り止めパッドの台紙を剥がし、下図を参考にしてベースに貼り付けてください。

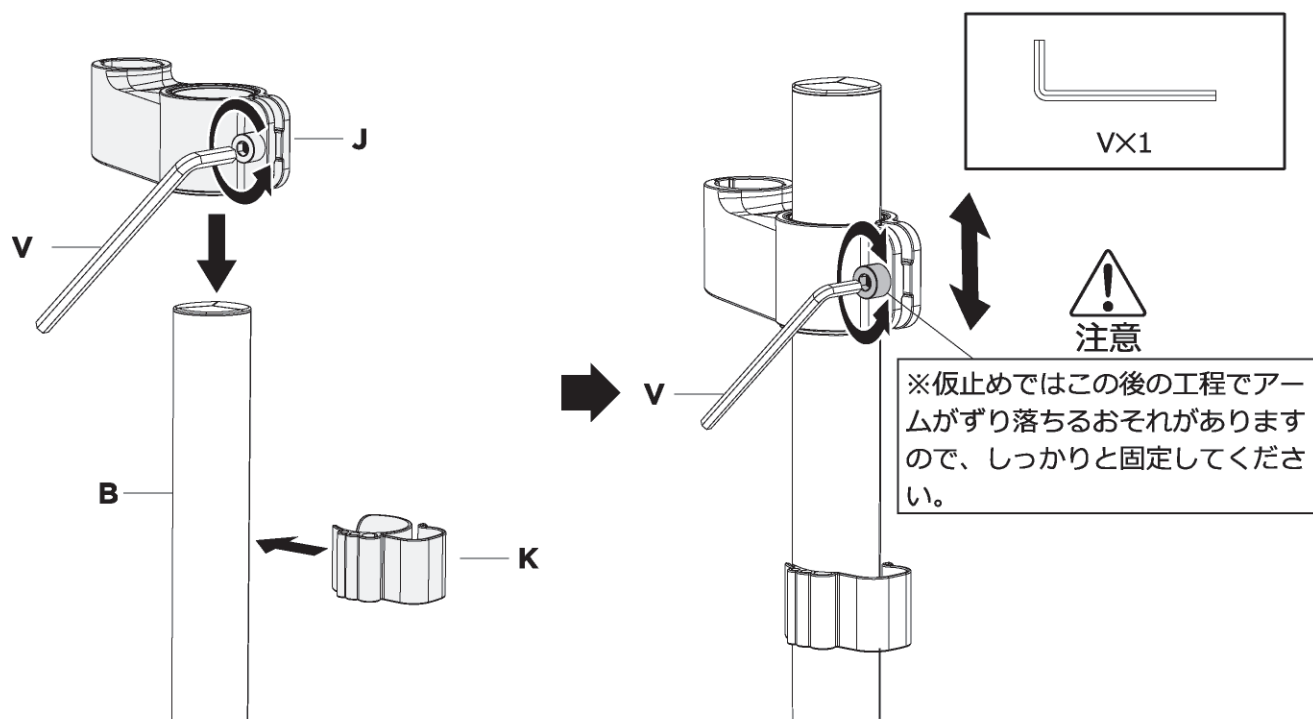


- 5 天板の穴が下記の要件を満たしているのか確認してから、穴に(I)グロメット用ボルトを天板に差し込み、(N)グロメットベース、(O)グロメット用ワッシャー、(P)グロメットボルト固定ナットの順番でグロメット用ボルトに取り付けてください。ある程度手でグロメットボルト固定ナットを回してから、(W)レンチでナットを締め込み、ベースを天板に固定してください。

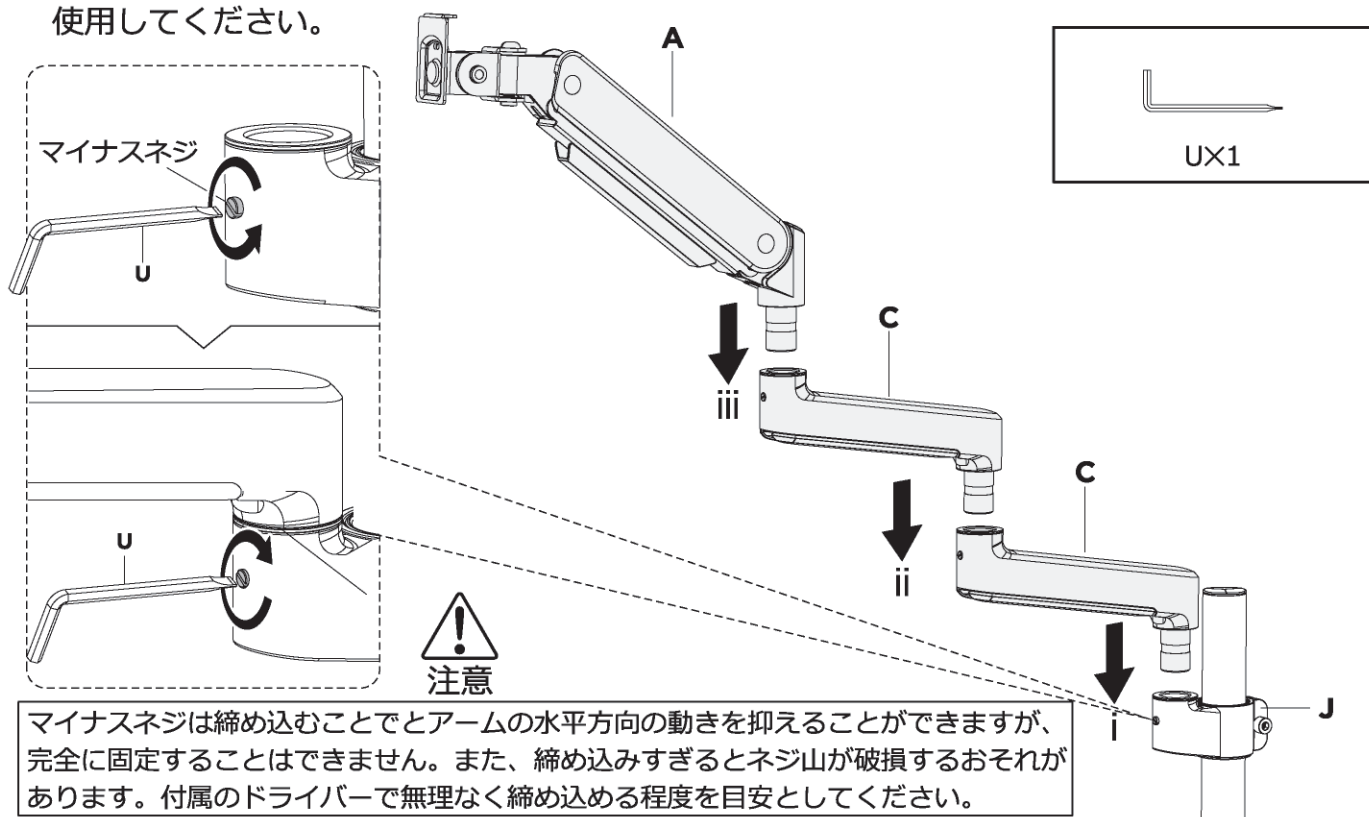


● ここから共通手順です。

- 6 (K)ケーブルクリップはお好みの位置でポールにはめてください。
次に(B)ポールに(J)アーム基部を取り付けます。(V)六角レンチでアーム基部のボルトを緩め取り
付け、お好みの位置で固定してください。



- 7 (J)アーム基部に(A)アーム①、(C)アーム②を取り付けます。
各アームの取付時は(U)六角レンチのマイナスドライバー側を使用して各部のマイナスネジを
緩めてから取り付け、取付後はマイナスネジを締めてください。
※必要に応じてアーム②の取付数を減らしたり、アーム①を直接アーム基部に取り付けたりして
使用してください。

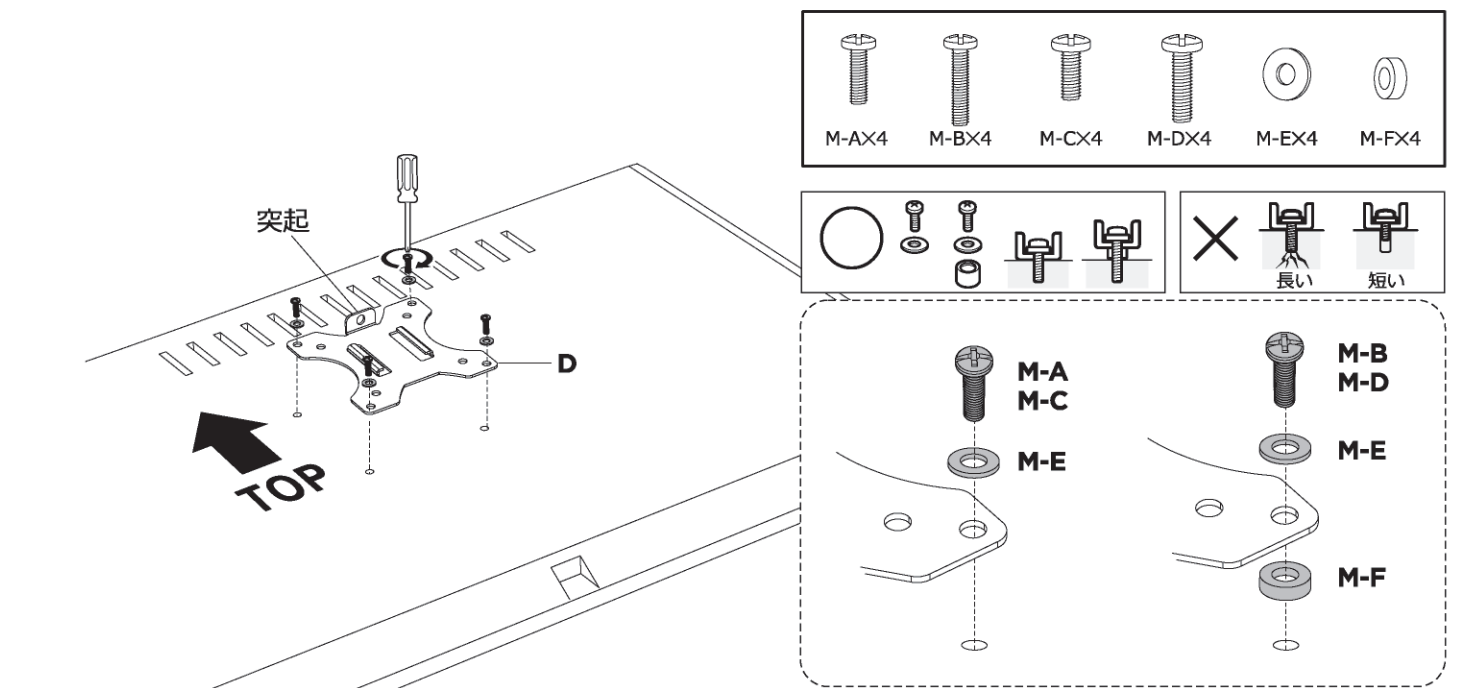


- 8 (D)VESAプレートモニター裏に取り付けます。モニター側のVESA穴のネジサイズを確認してから(M-A~D)VESA用ボルトを(M-E)ワッシャーAを通してから、必要に応じて(M-F)ワッシャーBも加えて下図を参考にモニターへ取り付けてください。

VESAプレート取付時は突起がある面が外側かつ上側になるよう注意してください。

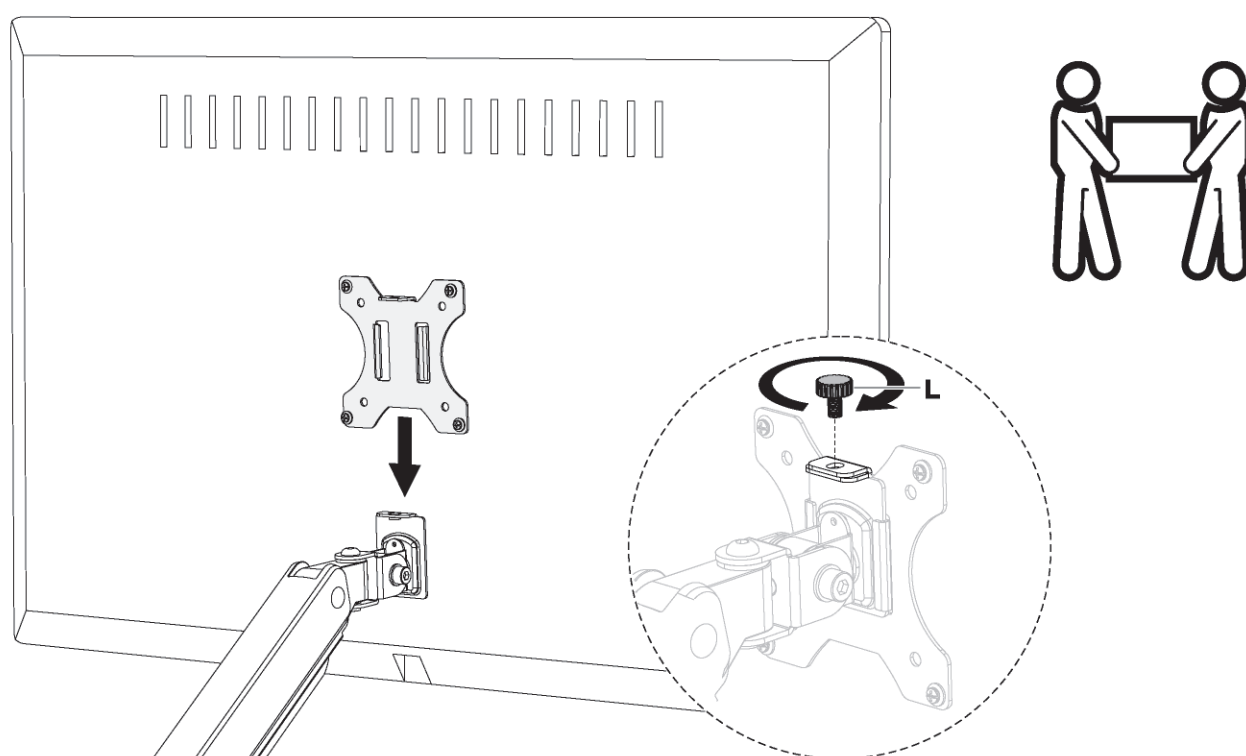
※VESAネジをモニターへ完全固定する前に、脱落しないか、長さに過不足がないか確認してください。

※お持ちのモニターに適合しないネジや、ネジの締め込みすぎ等でモニターが破損した場合の保証は一切致しかねます。

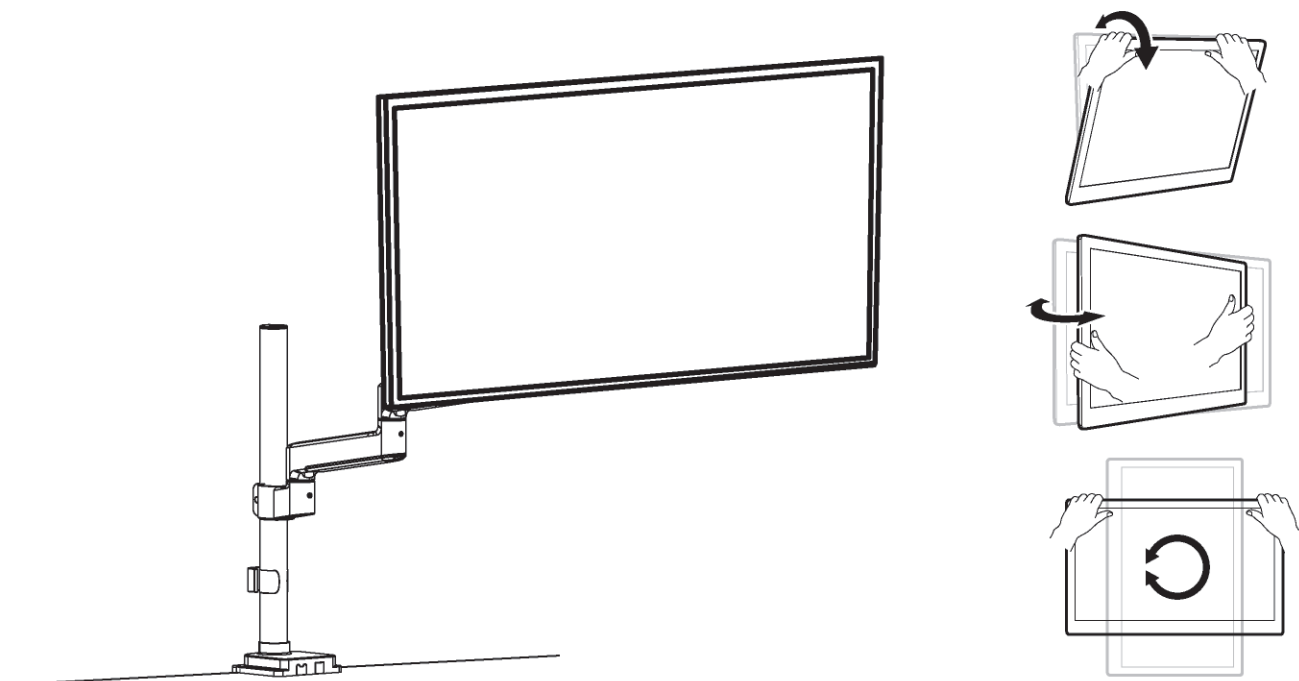


- 9 モニターを(A)アーム①に取り付けます。アーム①先端の板が、(D)VESAプレートの突起にはまるよう上から差し込みます。上側の突起同士が重なった部分に(L)VESAプレート固定ノブをねじ込み、完全に固定してください。

※モニターをアーム側に固定する際は、必ず大人2人以上で行ってください。



- 10 完成です。(A)アーム①の先端にはチルト関節が搭載されておりますので、モニターの角度や傾き等を調整することができます。



■ 各所調整方法

●アームの固定力調整

取り付けるモニターの重量によっては、アームが自動的に下がってしまう/上がってしまう場合があります。その際は、下記手順にしたがってアームの固定力を調整してください。

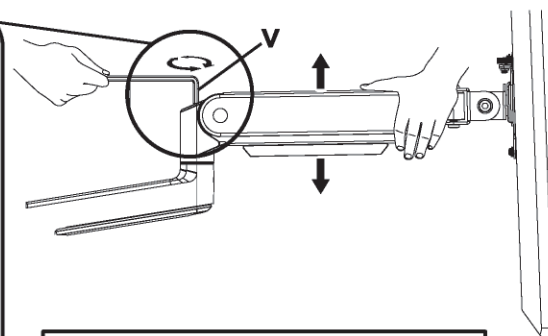
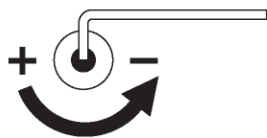
アームが下がってしまう場合

アームが下がらなくなるまで調整ネジを時計回りに回してください。



アームが上がってしまう場合

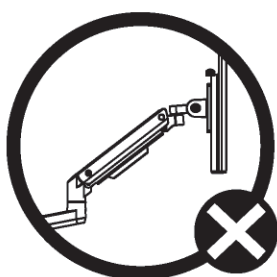
アームが上がらなくなるまで調整ネジを反時計回りに回してください。



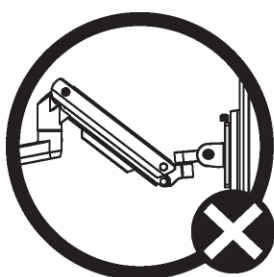
⚠ ネジの締めすぎに注意

※アームは水平に伸ばした状態で、必ず手で支えながら作業を行ってください。

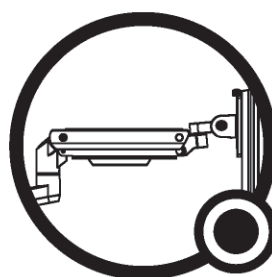
モニターの参考保持位置



アームが上がる



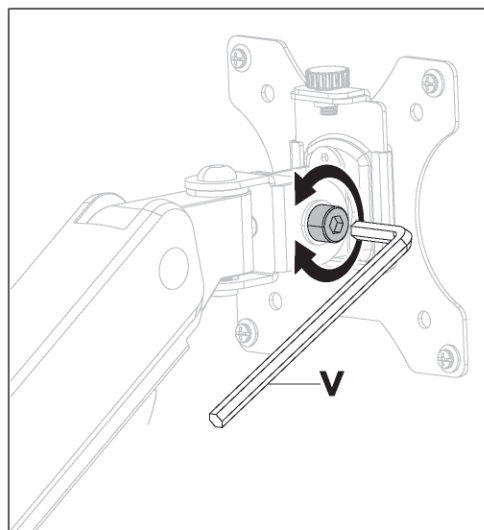
アームが下がる



適正

●チルト関節の固定力調整

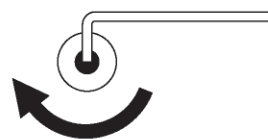
アーム①先端のチルト関節が硬すぎて角度調節ができない場合や、緩くて角度が勝手に変わってしまう場合は、チルト関節側面のボルトを(V)六角レンチを使用して下記手順にしたがって固定力を調整してください。



⚠ ネジの締めすぎに注意

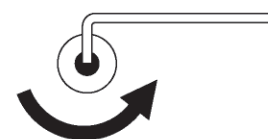
チルト関節が緩い場合

調整ネジを時計回りに回してください。
調整ネジが締まり、可動部分の固定力が増します。



チルト関節が硬い場合

調整ネジを反時計回りに回してください。
調整ネジが緩み、可動部分が動かしやすくなります。

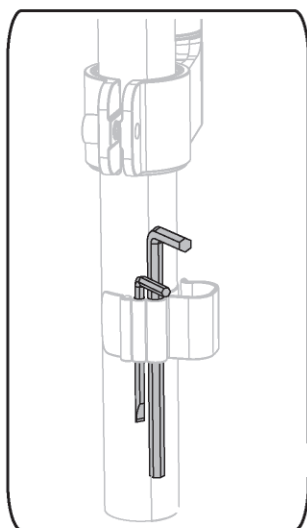


※必ずモニターを手で支えながら、両手で作業を行ってください。

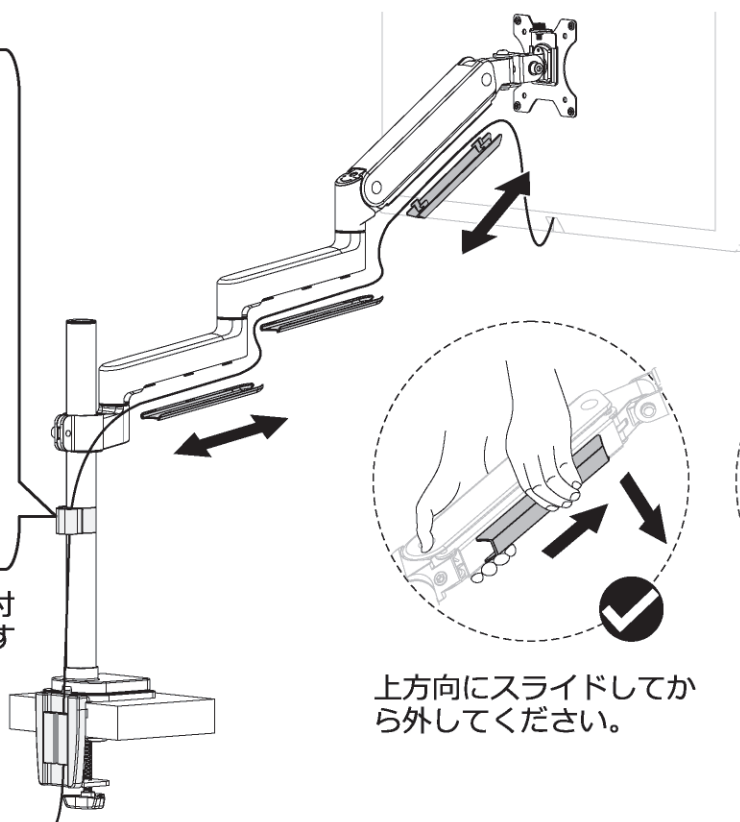
●ケーブル収納

アームの下部にケーブルを収納することができます。

収納したケーブルはお好みの位置に取り付けた(K)ケーブルクリップを使用し束ねることができます。



ケーブルクリップには付属の六角レンチを収納することができます。

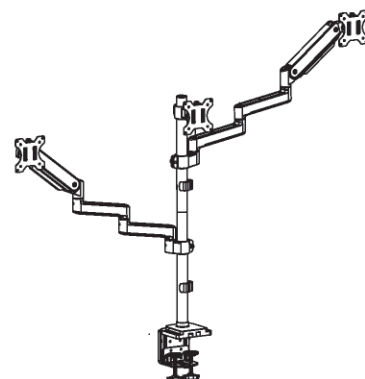


上方向にスライドしてから外してください。

スライドせずに外すと破損します。

ロングモニターアームMS BMA-2MS

取扱説明書



※小さなお子様のご使用になる場合は※
保護者の方が当取扱説明書をよくお読みになり、使用中はお子様につき添ってください。

本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品をご使用の際は必ず本書をお読みいただき、ご理解の上、正しくご使用ください。また、お読みいただいた後も、この説明書は大切に保管してください。

本製品はモニター用アームとして使用されることを目的としています。
それ以外の目的で使用しないでください。

FOR USE IN JAPAN ONLY

使用者は、必ずこの取扱説明書の内容を理解してからご使用下さい。
Read this instruction manual and make sure you thoroughly understand its contents before using this product.

品質表示

型番	BMA-2MS
構造部材	金属（スチール、アルミニウム合金）、ABS樹脂、ポリメチルペンテン、シリコーンゴム
表面加工	エポキシ樹脂塗装
原産国	中国
耐荷重	総耐荷重：30kg 1アームあたり：2kg以上、10kg以下



注意

傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される内容を示しています。

組み立てのご注意

- 組み立ておよび設置は大人2人以上で行ってください。
- 組み立てる前に各部品に不足や不具合がないかご確認ください。
不足や不備があった場合は、直ちに組み立てを中止してください。
- けがや汚れを防止するため、必ず手袋を着用して組み立ておよび設置を行ってください。
- 組み立て時は、床や壁、他の家具の傷を防止するために敷物を敷いてください。
- ネジ・ボルトの取り付け前に、ネジ・ボルト穴の異物をきれいに取り除いてください。
- ネジ・ボルトは最初からきつく締めないでください。まず全てのネジ・ボルトを仮締めし、きちんと組み合わさったことを確認してから、最後にしっかりとネジ・ボルトを固定してください。
- 全てのパーツを正しく取り付けてください。
- 製品の使用前に、各部品がしっかりと固定されていることをご確認ください。

⚠ 使用上のご注意

- 本製品のいずれかの部品にひび・破損などの異常が生じた場合は直ちに使用を中止してください。けがをするおそれがあります。
- 本製品は水平で安定する面に取り付けてご使用ください。破損やけがをするおそれがあります。
- 本製品の耐荷重は、2kg以上、10kg以下です。取り付けるモニターが軽すぎると、アームの位置が固定できないため、必ず耐荷重内のモニターを取り付けてください。
- 耐荷重内であっても、ポール上部に偏ってモニターを設置及び使用しないでください。その状態でアームを前方向に伸ばすと、ポールが傾き変形・破損したり、アームが水平位置を保持できなくなったりするおそれがあります。
- 本製品にぶら下がったり、もたれたりしないでください。破損やけがをするおそれがあります。
- 事前にアームの可動範囲をお確かめのうえ、本製品の設置場所をご検討ください。壁や人にぶつかると、破損やけが、モニターの故障につながるおそれがあります。
- 本製品に取り付けたモニターを動かす際は、必ず両手で操作してください。片手で無理に動かそうとすると、アームの関節部や固定部、またはモニターが破損するおそれがあります。
- アームを動かす際、デスク天板上よりも外側の位置で使用しないでください。デスクが転倒し、破損やけがをするおそれがあります。
- 本製品は多くの関節部により構成されています。ご使用の際は、関節部に指などを挟まないよう十分ご注意ください。小さなお子様が使用する場合や、近くにいる場合は特にご注意ください。
- 本製品の使用にあたり生じた、周辺機器および物品の破損・故障等の問題については、弊社にて補償いたしかねます。本製品を正しく使用している際に生じた場合でも同様ですので、予めご了承ください。
- 本製品には滑り止めとしてシリコンゴムが使用されています。デスク天板の表面処理によっては移染するおそれがあります。

■ メンテナンス・廃棄方法

- 各パーツに破損や異常がないか、定期的に製品全体を点検してください。破損や異常が認められた場合は、直ちに使用を中止してください。
- ボルト・ネジや各パーツに緩みがないか、定期的に製品全体を点検してください。緩みがある場合は、しっかりと固定し直してください。
- 本製品が濡れたり湿ったりした場合は、直ちに乾いた布で水分を十分に拭き取り、風通しの良い日陰でよく乾かしてください。濡れたまま放置しておくと、サビや臭気の原因となります。
- 本製品を廃棄の際は、各地方自治体の廃棄区分に従って廃棄してください。

【製品のお手入れ方法】

- 本製品を清掃する際はアルコール・ベンジン・磨き粉などは使用しないでください。変色や変形の原因となります。
- 本製品を清掃する際は、柔らかい布で乾拭きしてください。
- 本製品を水拭きする場合は、固く絞った柔らかい布で拭き上げ、直射日光が当たらない風通しの良い場所で十分に乾燥させてください。湿気が残っていると、劣化やサビの原因となります。

■ 組立前にお読みください



注意

確実な組み立てのため、**ネジ・ボルトを取り付ける際はまず手で回して取り付けてください。**ネジ穴に正しいネジ・ボルトが真っ直ぐ入ったことを確認し、全ての部品を組み合わせってから最後にドライバー・レンチでしっかりと増し締めしてください。

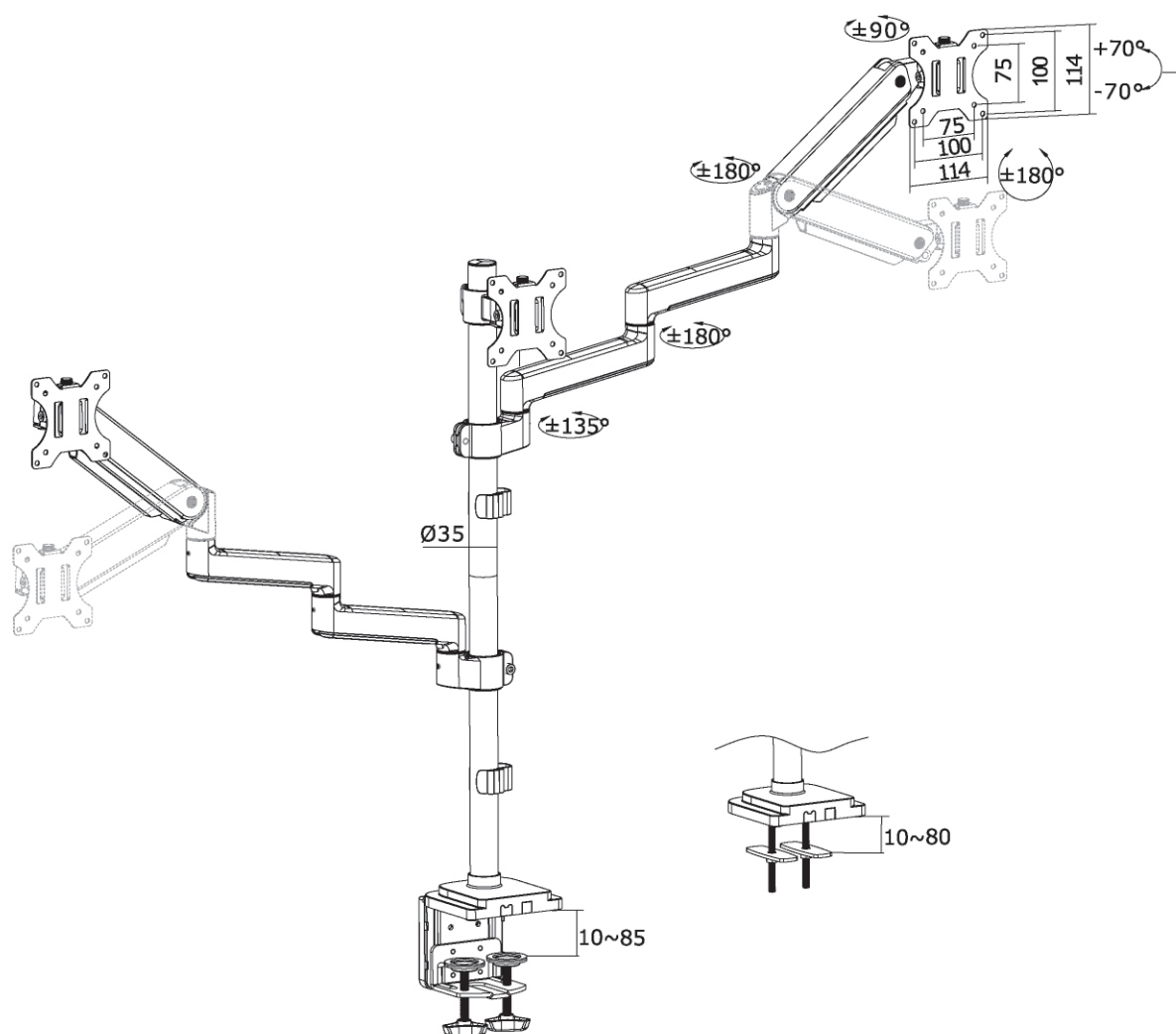
最初にきつくネジ・ボルトを締めてしまうと、後から組み立てる部品においてネジ・ボルトとネジ穴位置が合わなくなることがあります。

無理な力で斜めにねじ込むとネジ穴がつぶれネジ・ボルトが入らなくなります。

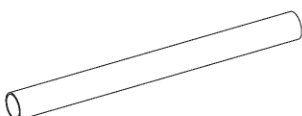
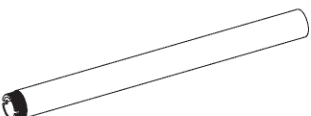
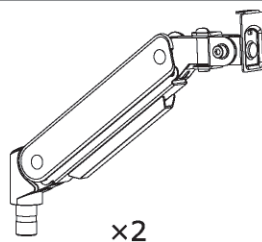
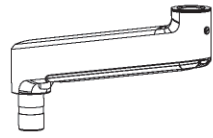
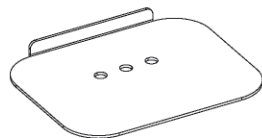
また、誤ったネジ・ボルトを使用すると製品が破損する場合があります。

※誤った組立方法にて製品が破損した場合は、製品保証の対象外となりますのでご注意ください。

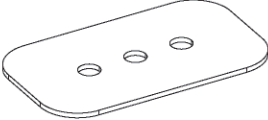
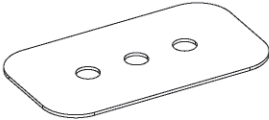
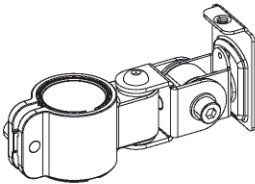
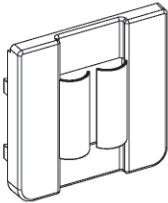
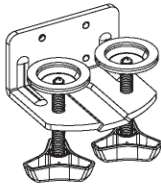
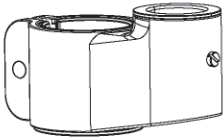
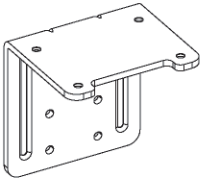
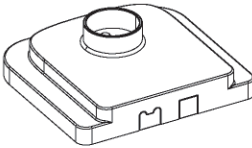
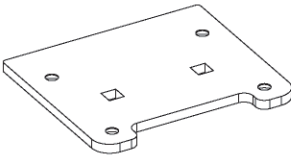
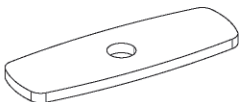
■ 全体図



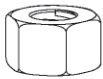
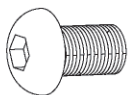
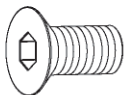
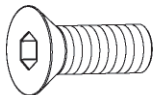
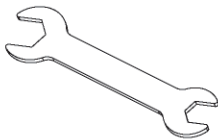
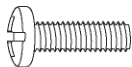
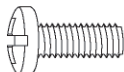
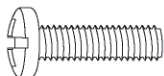
■ 部品・付属品

A	ポールA	B	ポールB	C	アーム①
					
×1		×1		×2	
D	アーム②	E	VESAプレート	F	天板補強プレート (天板上側)
					
×4		×3		×1	

■ 部品・付属品

G	天板補強プレート用パッド (天板上側)	H	天板補強プレート (天板下側)	I	天板補強プレート用パッド (天板下側)
					
×1		×1		×1	
J	アーム③	K	クランプマウントカバー	L	クランプベース
					
×1		×1		×1	
M	アーム基部	N	クランプマウント	O	ベース
					
×2		×1		×1	
P	グロメットベース用ボルト	Q	グロメット用マウント	R	ケーブルクリップ
					
×2		×1		×2	
S	VESAプレート固定ノブ	T	グロメットベース	U	グロメット用ワッシャー
					
×3		×2		×2	

■ 部品・付属品

V	グロメットボルト固定ナット	W	滑り止めパッド	X	クランプマウント固定ボルト
 ×2		 ×4		 ×4	
Y	ベース固定ボルト M6×12mm	Z	ポール固定ボルト M6×16mm	AA	六角レンチ 4mm (マイナスドライバー付き)
 ×4		 ×3		 ×1	
AB	六角レンチ 5mm	AC	六角レンチ 6mm	AD	レンチ
 ×1		 ×1		 ×1	
M-A	VESA用ボルト(A) M4×12mm	M-B	VESA用ボルト(B) M4×16mm	M-C	VESA用ボルト(C) M5×12mm
 ×12		 ×12		 ×12	
M-D	VESA用ボルト(D) M5×16mm	M-E	ワッシャーA	M-F	ワッシャーB
 ×12		 ×12		 ×12	

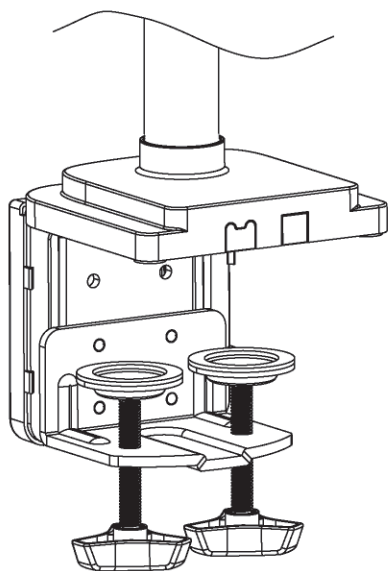
■ 組み立てる前に

本製品は2種類の方法でデスクに固定することができます。

■ クランプ方式 → 5ページへ

クランプでデスクを挟み込んで固定する方法です。

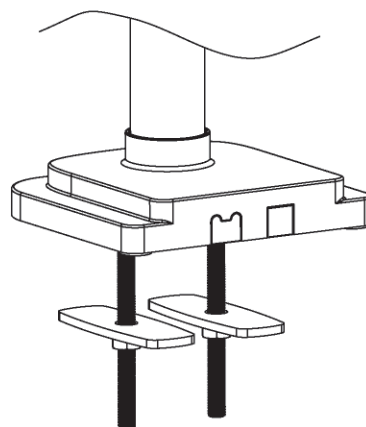
対応天板厚 10～77mm（補強板無し85mm）
取付に必要な天板裏奥行き 85mm



■ グロメット方式 → 7ページへ

デスクに穴を開け、スクリーを通して固定する方法です。

対応天板厚 10～72mm（補強板無し80mm）

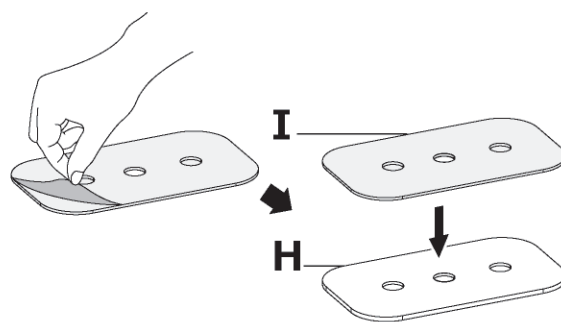
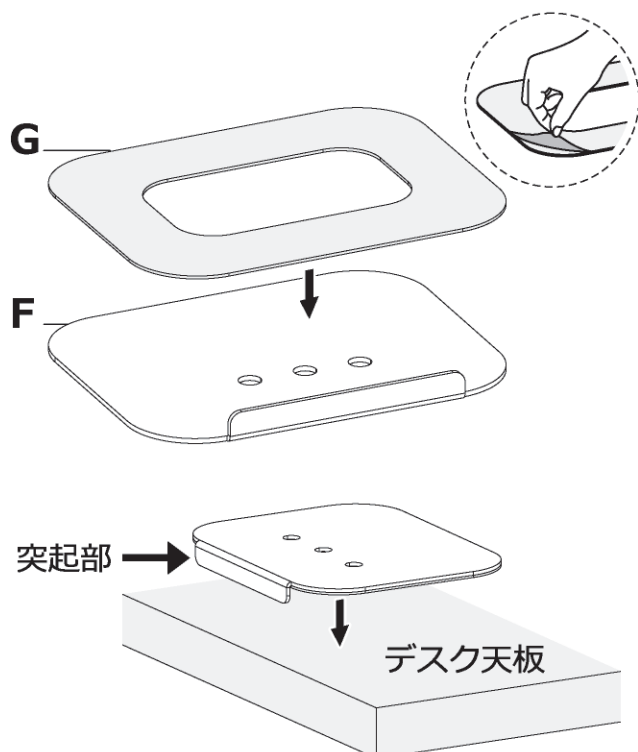


7
ページへ

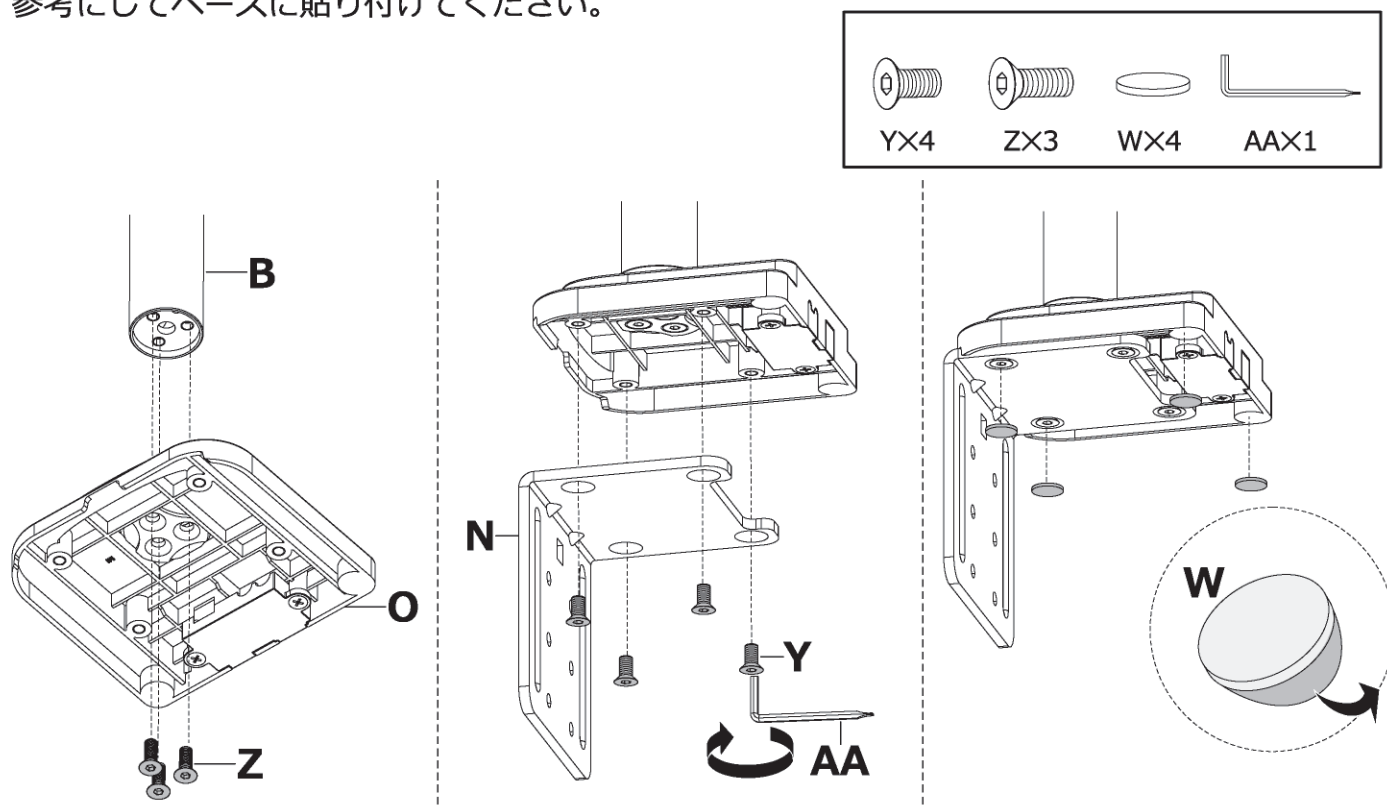
■ 組み立て手順

I. クランプ方式で固定する場合

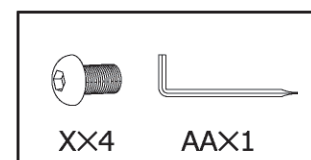
- 1 (F)天板補強プレートの突起部がある側と、(H)天板補強プレートに、(G)(I)プレート用パッドを貼り付けます。(F)天板補強プレート突起部がデスク天板と密接するようにして設置します。



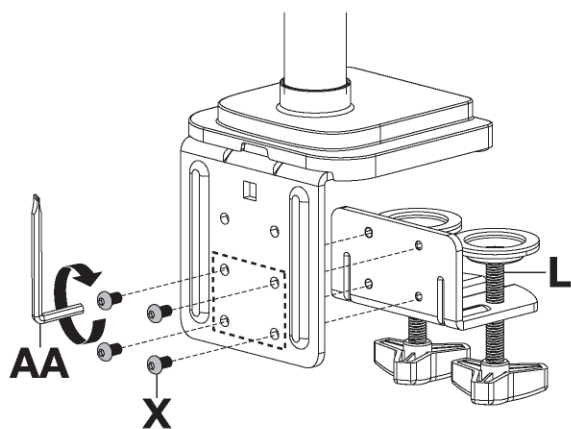
- 2 (B)ポールを(O)ベースに(Z)ポール固定ボルトを使用して固定します。次に(N)クランプマウントを(O)ベースに(Y)ベース固定ボルトで固定します。次に(W)滑り止めパッドの台紙を剥がし、下図を参考にしてベースに貼り付けてください。



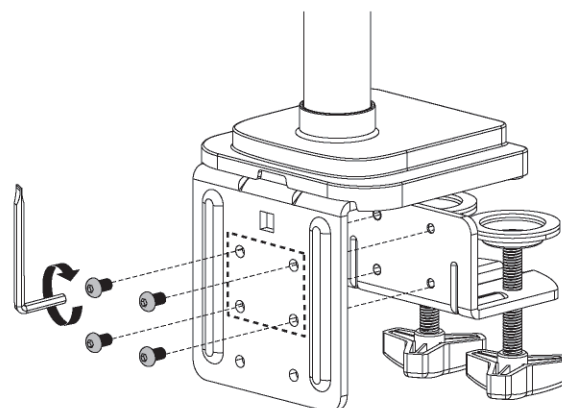
- 3 (N)クランプマウントに(L)クランプベースを(X)クランプマウント固定ボルトで固定してください。この際、取り付ける天板の厚みを確認してからどちらに固定するか決めてください。



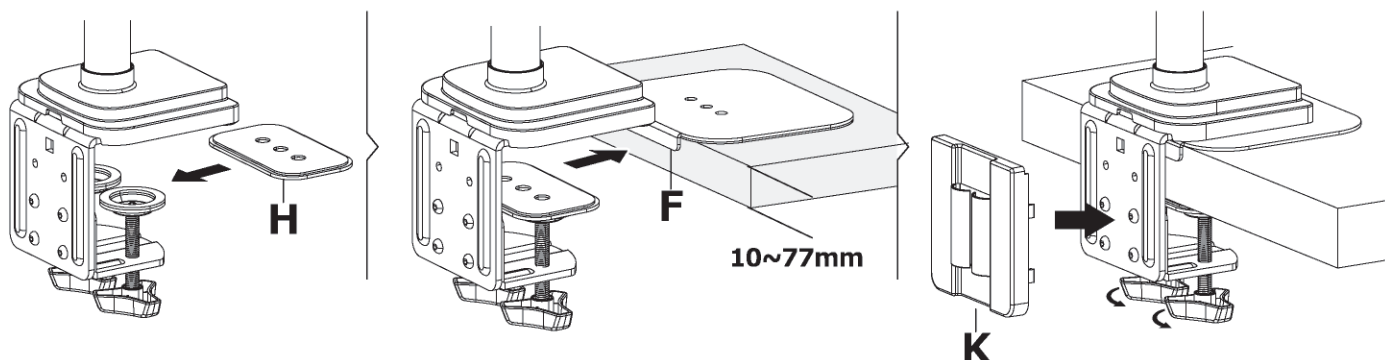
天板厚が50～85mmの場合
下側のネジに固定



天板厚が10～55mmの場合
上側のネジに固定



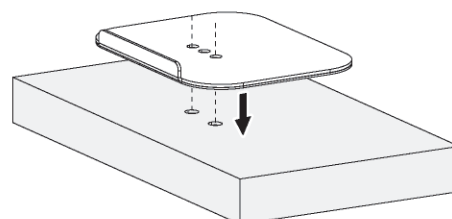
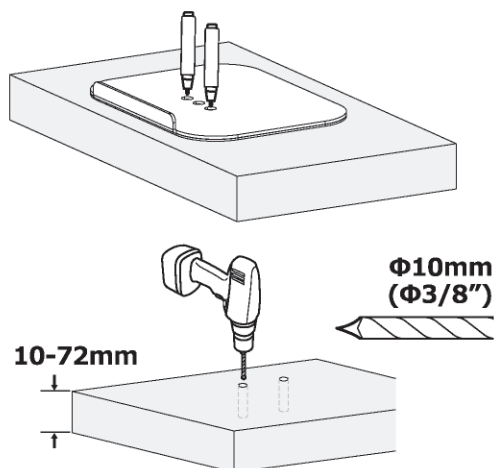
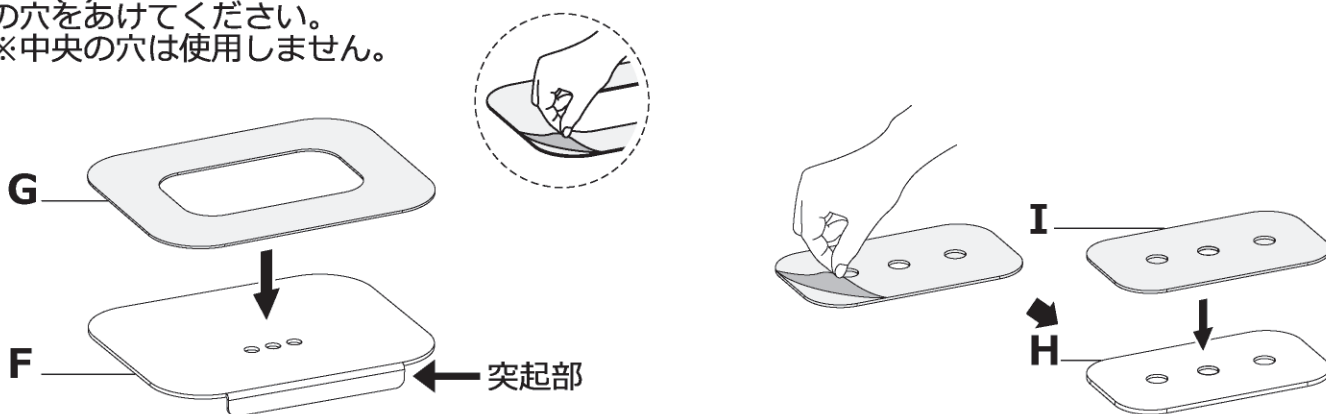
- 4 次に 1 で組み立てた(H)天板補強プレートをクランプベースの上に置いてから、(F)天板補強プレート
の中心を挟む位置でデスク天板に取り付け、クランプボルトを締めてデスクに固
定してください。次に(K)クランプマウントカバーを4箇所のツメで固定されるようにクラン
プベースに押し込み固定してください。
※各天板補強プレートの中心穴はクランプ式では使用しません。



手順 6 へ→

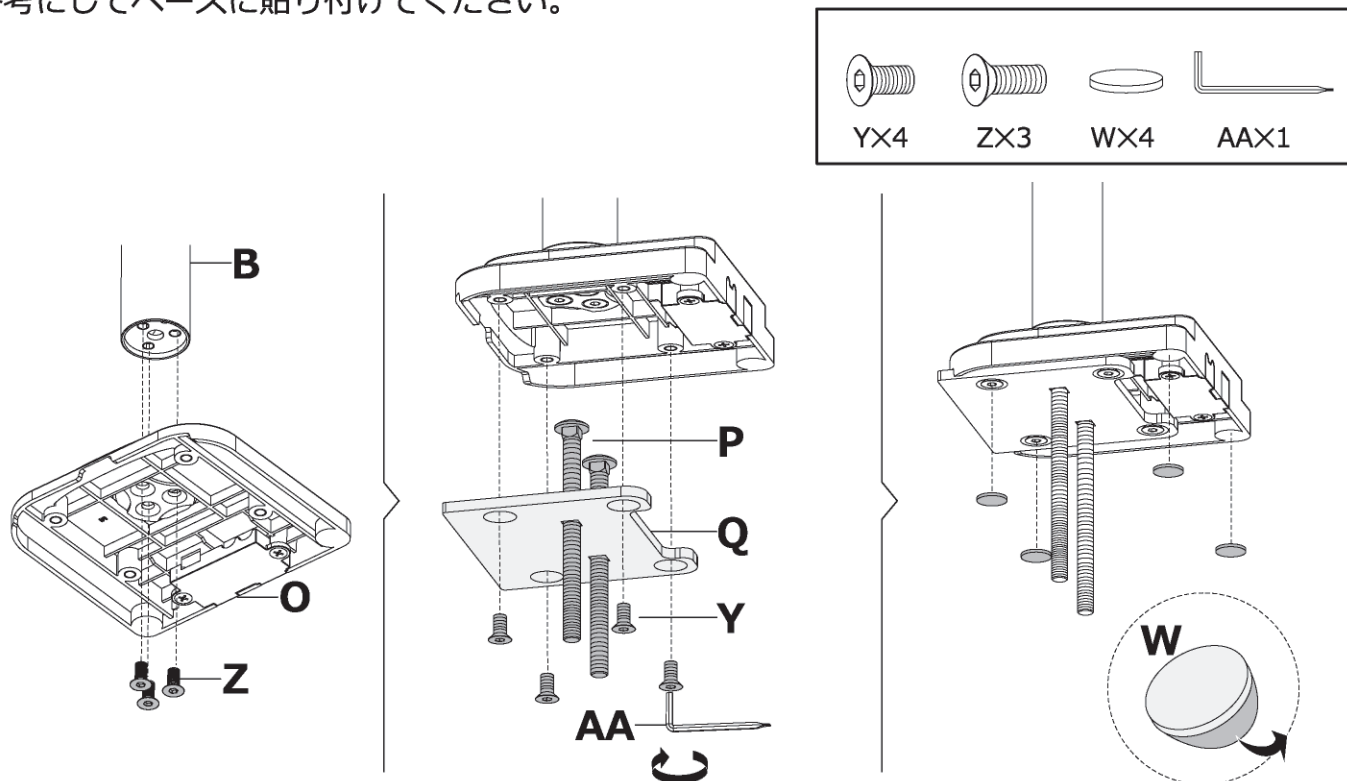
Ⅱ. グロメット方式で固定する場合

- 5 (F)(H)天板補強プレートに、(G)(I)プレート用パッドを貼り付けます。
(F)天板補強プレートは突起が無い側にパッドを貼り付けてください。
次に(P)天板補強プレートを設置予定の場所に置き、ペン等で印を付けてデスク天板に直径10mm
の穴をあけてください。
※中央の穴は使用しません。

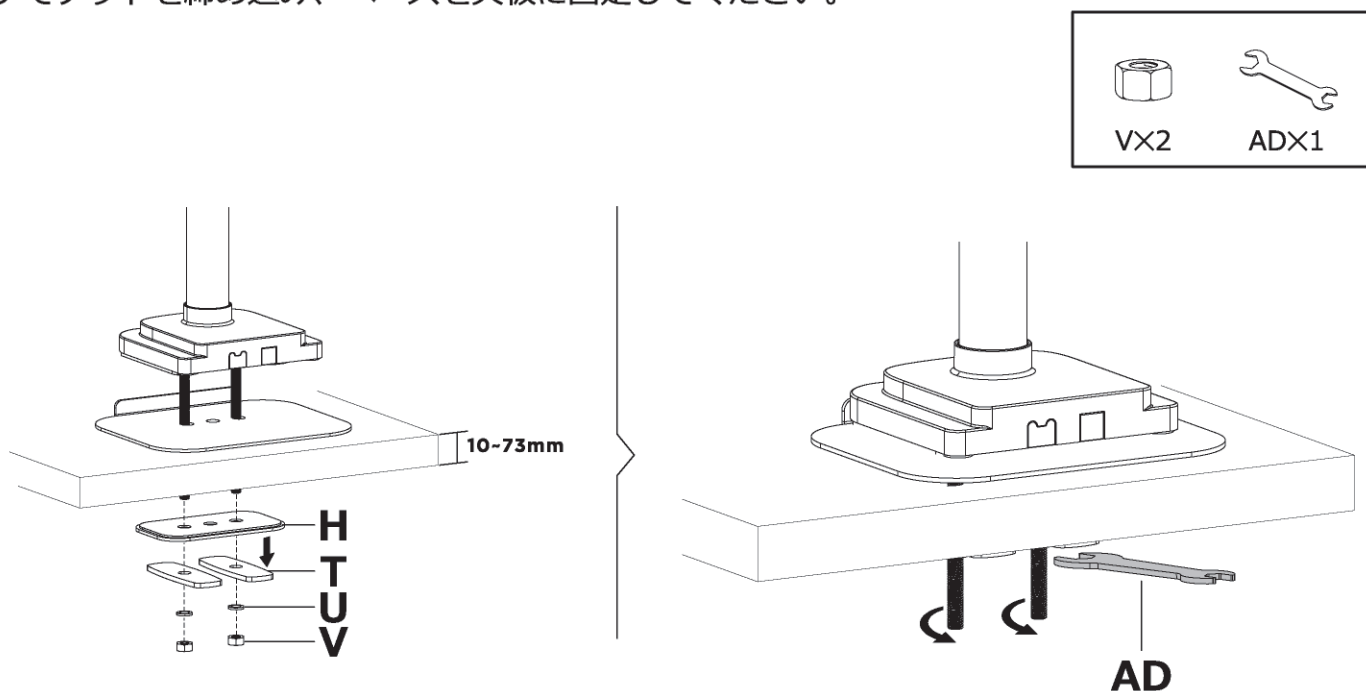


外側の穴と合っているか確認してください。

- 6 (B)ポールを(O)ベースに(Z)ポール固定ボルトを使用して固定します。次に(Q)グロメット用マウントに(P)グロメットベース用ボルトを下図のように通してから、(O)ベースに(Y)ベース固定ボルトで固定します。次に(W)滑り止めパッドの台紙を剥がし、下図を参考にしてベースに貼り付けてください。

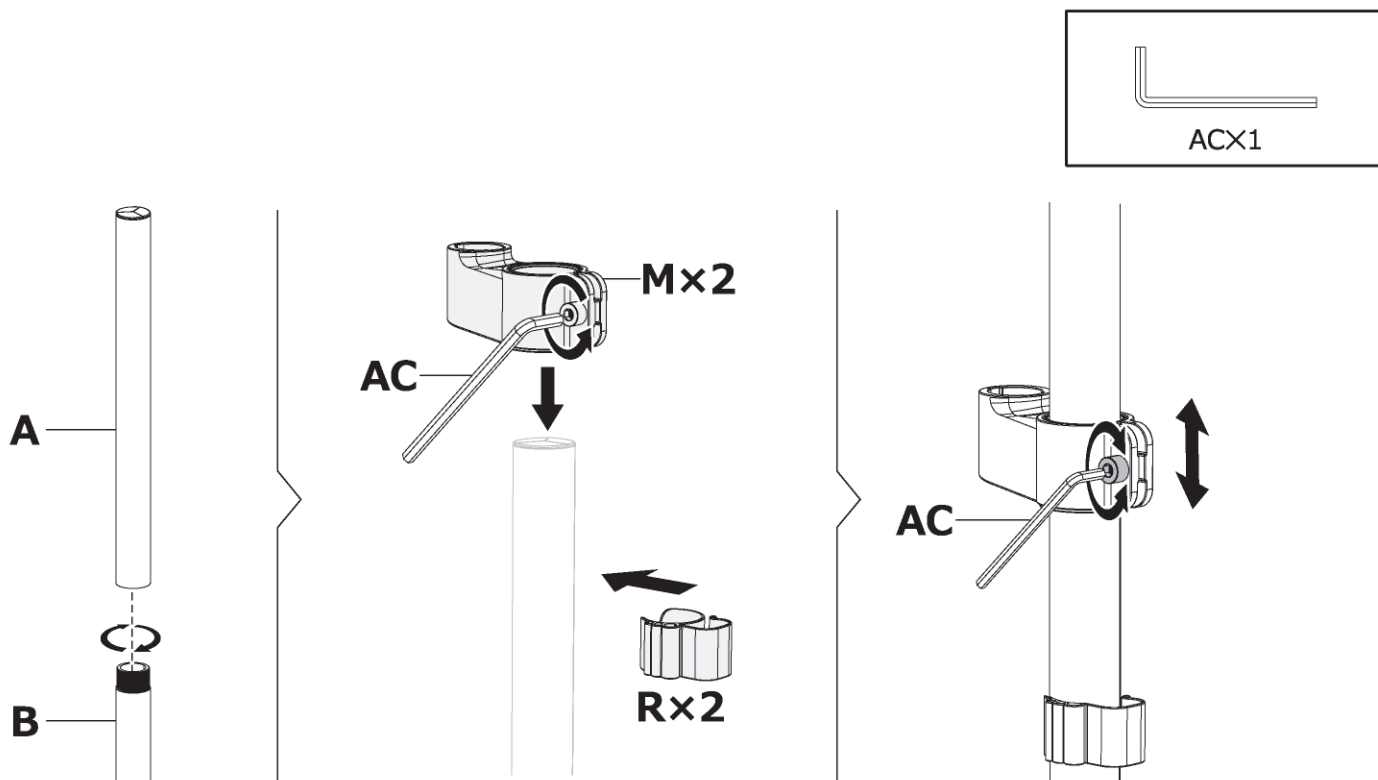


- 7 5で開けた天板の穴に(P)グロメット用ボルトを差し込み、(H)天板補強プレート、(T)グロメットベース、(U)グロメット用ワッシャー、(V)グロメットボルト固定ナットの順番でグロメット用ボルトに取り付けてください。ある程度手でグロメットボルト固定ナットを回してから、(AD)レンチでナットを締め込み、ベースを天板に固定してください。

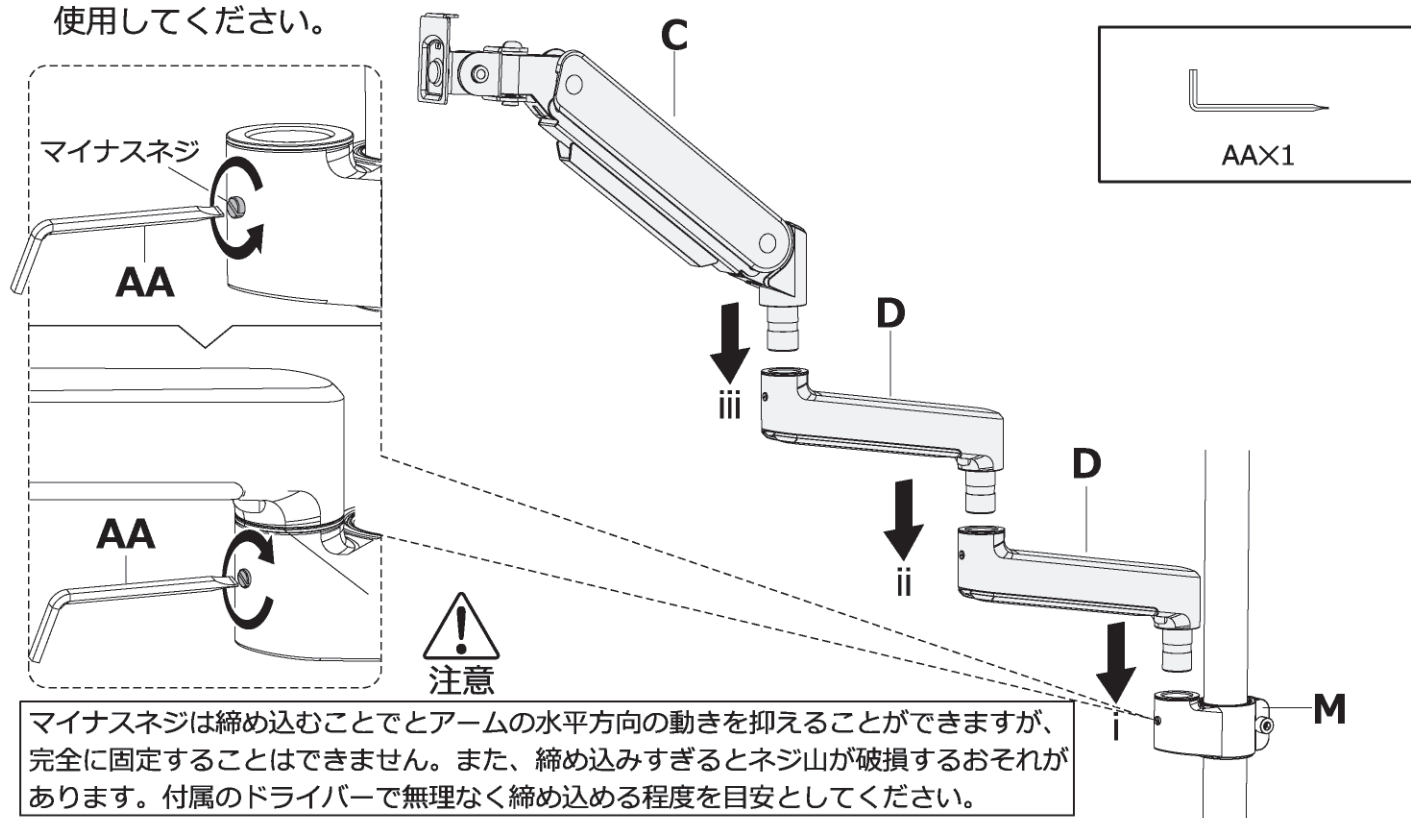


● ここから共通手順です。

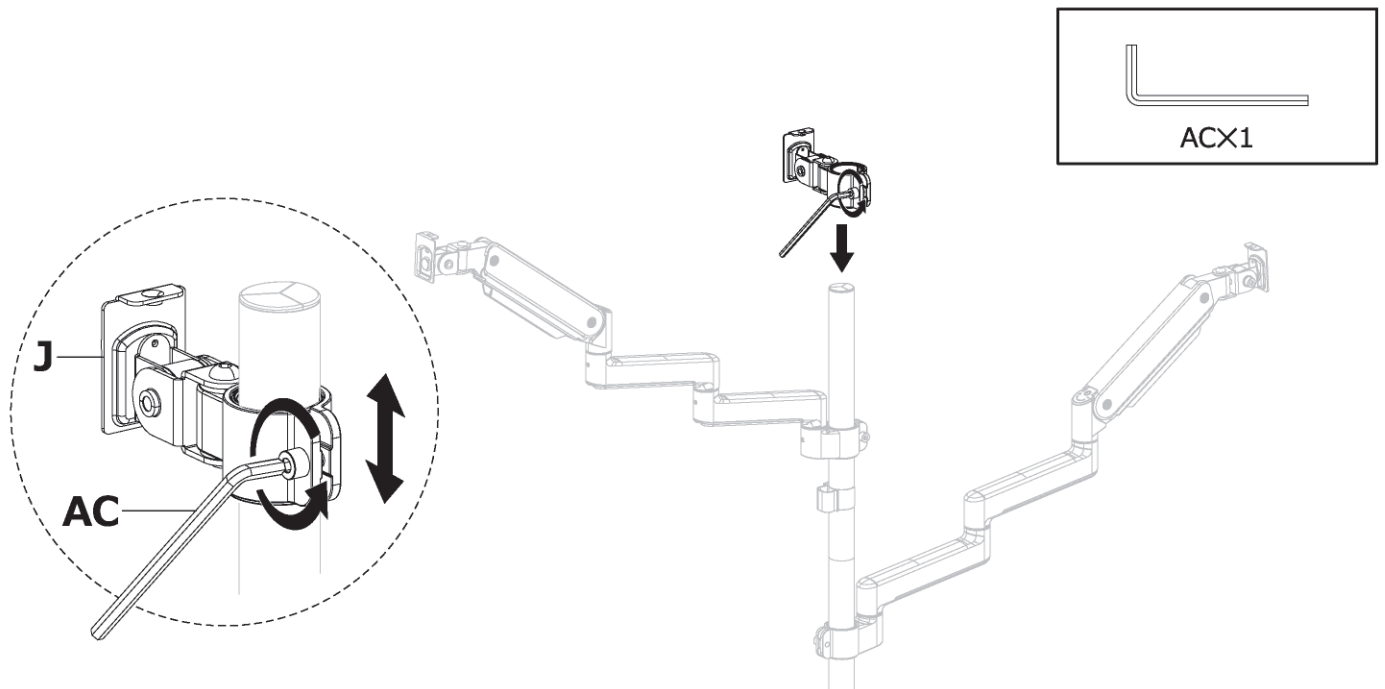
- 8 (A)ポールAを(B)ポールBに取り付け(R)ケーブルクリップはお好みの位置でポールにはめてください。次に(B)ポールに(M)アーム基部を取り付けます。(AC)六角レンチでアーム基部のボルトを緩め取り付け、お好みの位置で固定してください。



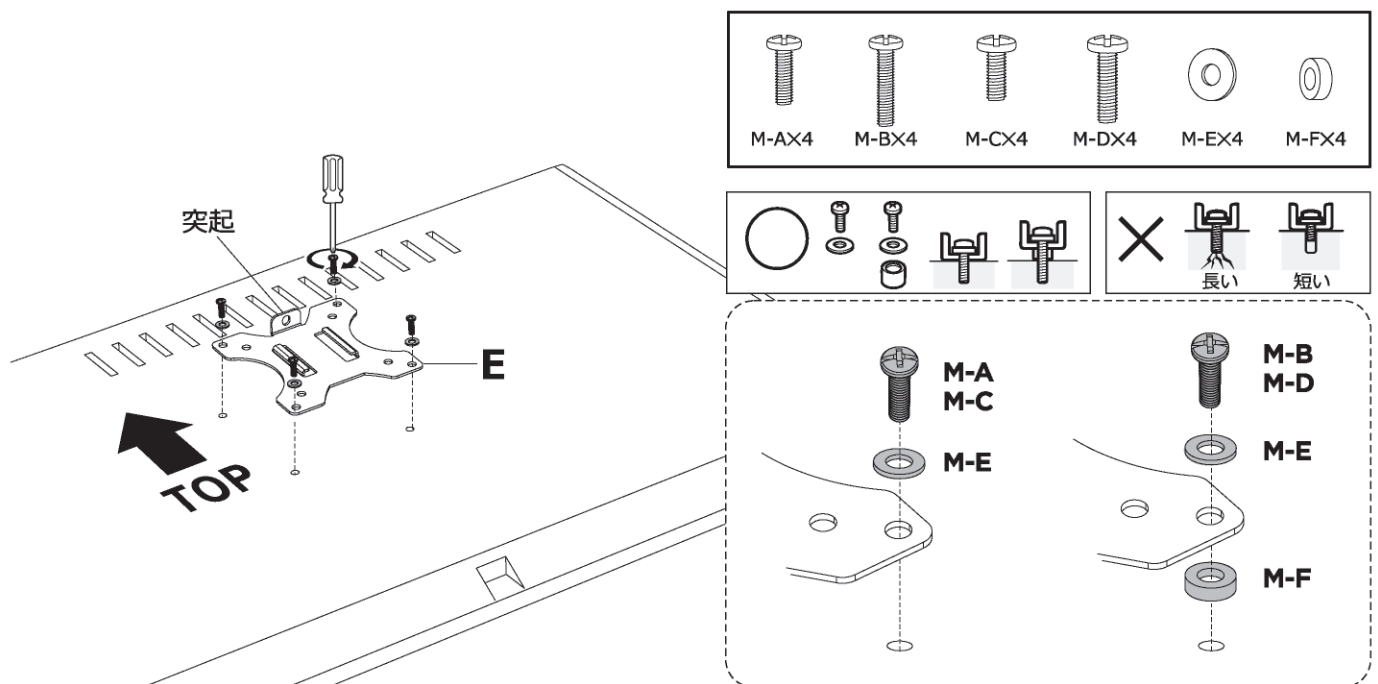
- 9 (M)アーム基部に(C)アーム①、(D)アーム②を取り付けます。各アームの取付時は(AA)六角レンチのマイナスドライバー側を使用して各部のマイナスネジを緩めてから取り付け、取付後はマイナスネジを締めてください。
※必要に応じてアーム②の取付数を減らしたり、アーム①を直接アーム基部に取り付けたりして使用してください。



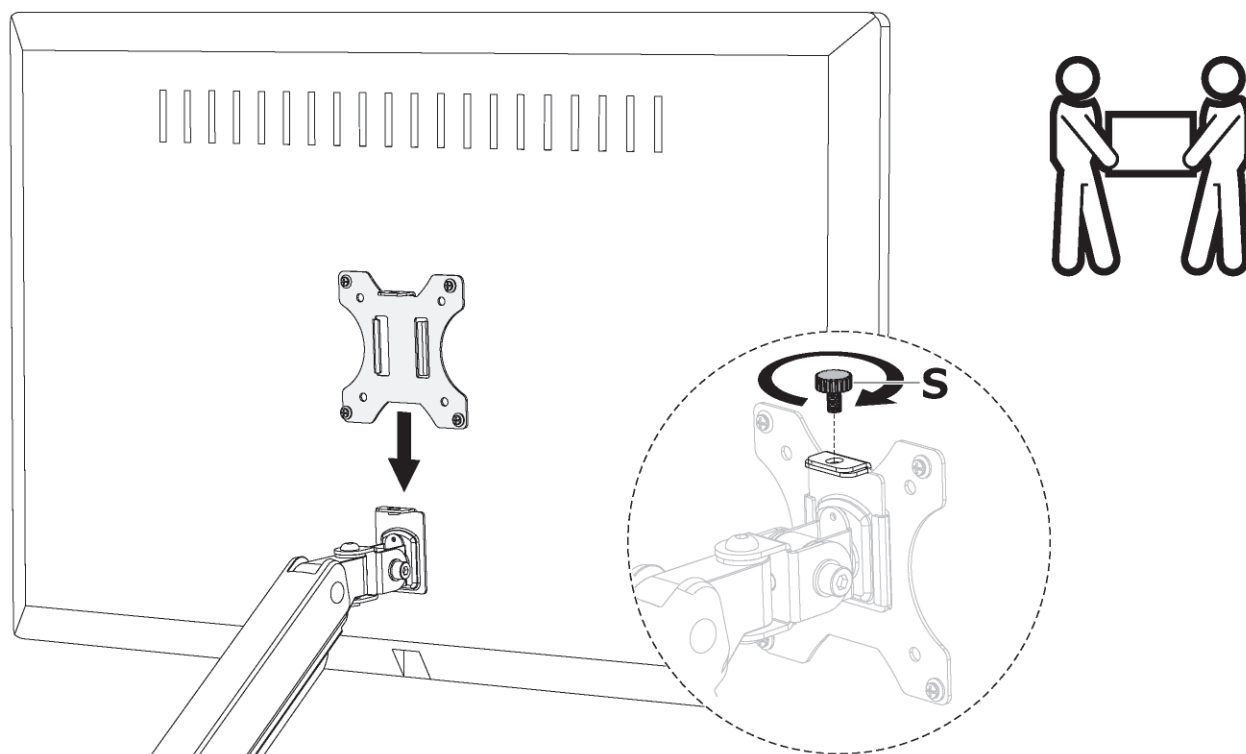
- 10 (J)アーム③を取り付けます。(AC)六角レンチでアーム基部のボルトを緩め取り付け、お好みの位置で固定してください。



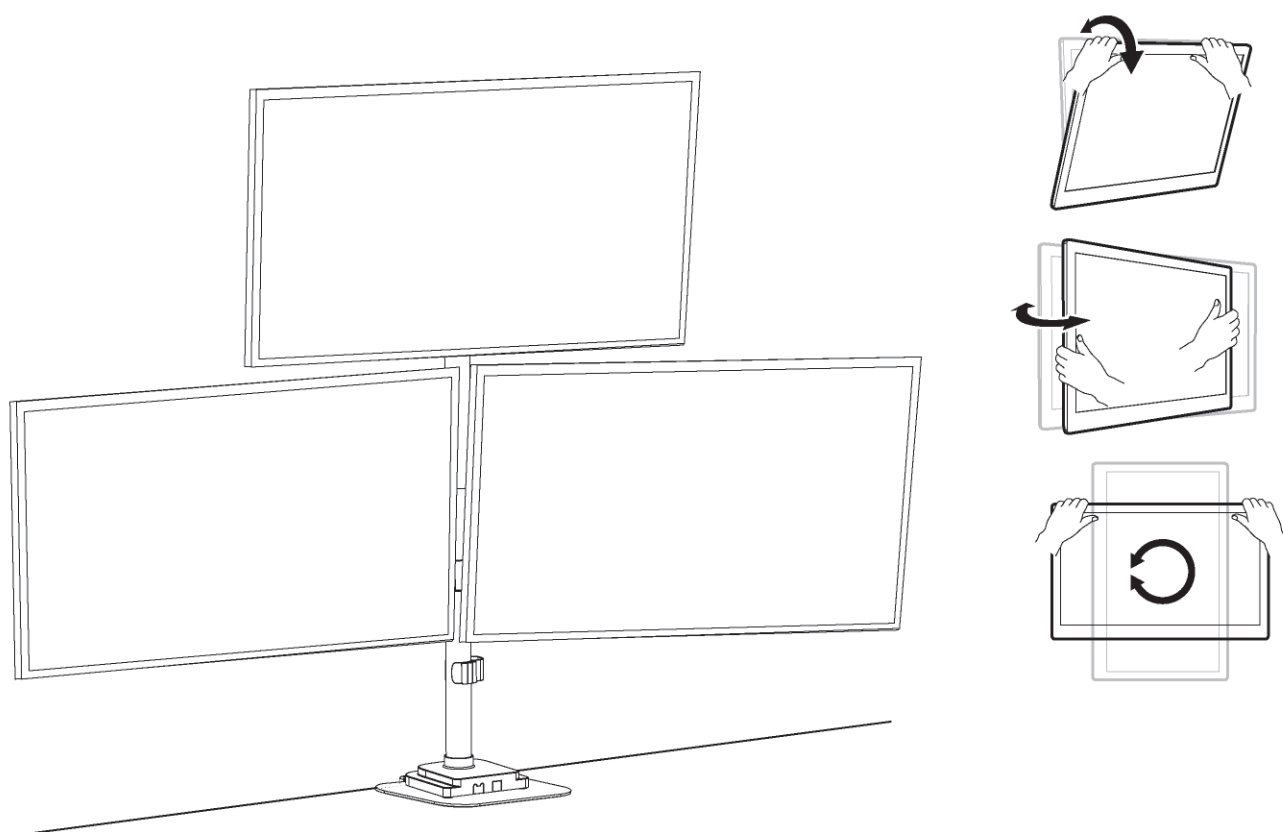
- 11 (E)VESAプレートモニター裏に取り付けます。モニター側のVESA穴のネジサイズを確認してから(M-A~D)VESA用ボルトを(M-E)ワッシャーAを通して、必要に応じて(M-F)ワッシャーBも加えて下図を参考にモニターへ取り付けてください。
VESAプレート取付時は突起がある面が外側かつ上側になるよう注意してください。
※VESAネジをモニターへ完全固定する前に、脱落しないか、長さに過不足がないか確認してください。
※お持ちのモニターに適合しないネジや、ネジの締め込みすぎ等でモニターが破損した場合の保証は一切致しかねます。



- 12** モニターを(C)アーム①(J)アーム③に取り付けます。アーム先端の板が、(E)VESAプレートの突起にはまるよう上から差し込みます。上側の突起同士が重なった部分に(S)VESAプレート固定ノブをねじ込み、完全に固定してください。
※モニターをアーム側に固定する際は、必ず大人2人以上で行ってください。

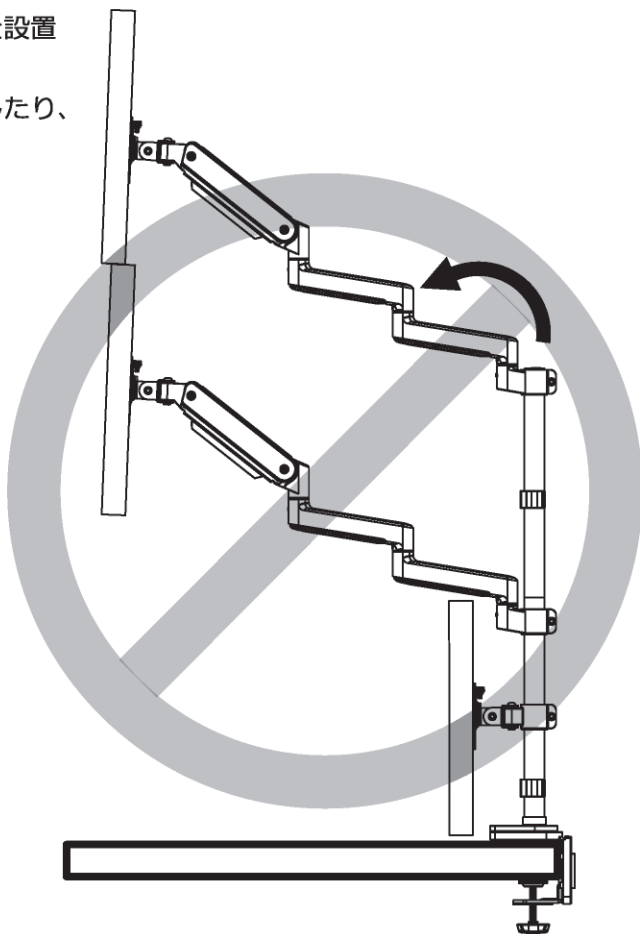


- 13** 完成です。(C)アーム①(J)アーム③の先端にはチルト関節が搭載されておりますので、モニターの角度や傾き等を調整することができます。



⚠ 使用上のご注意

- 耐荷重内であっても、右図のようにポール上部に偏ってモニターを設置及び使用しないでください。
その状態でアームを前方向に伸ばすと、ポールが傾き変形・破損したり、アームが水平位置を保持できなくなったりするおそれがあります。



■ 各所調整方法

● アームの固定力調整

取り付けるモニターの重量によっては、アームが自動的に下がってしまう/上がってしまう場合があります。その際は、下記手順にしたがってアームの固定力を調整してください。

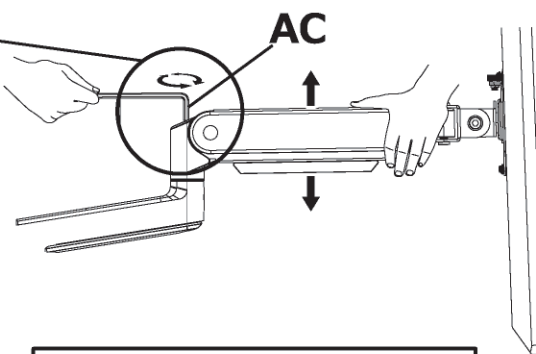
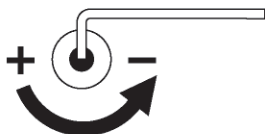
アームが下がってしまう場合

アームが下がらなくなるまで調整ネジを時計回りに回してください。



アームが上がってしまう場合

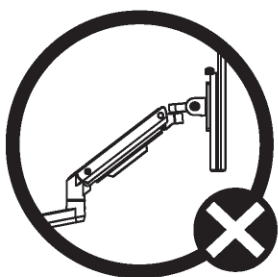
アームが上がらなくなるまで調整ネジを反時計回りに回してください。



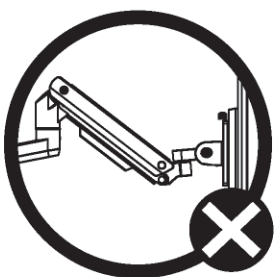
⚠ ネジの締めすぎに注意

※アームは水平に伸ばした状態で、必ず手で支えながら作業を行ってください。

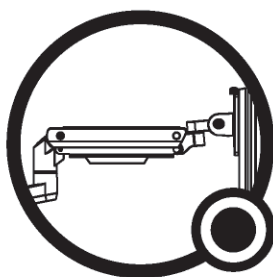
モニターの参考保持位置



アームが上がる



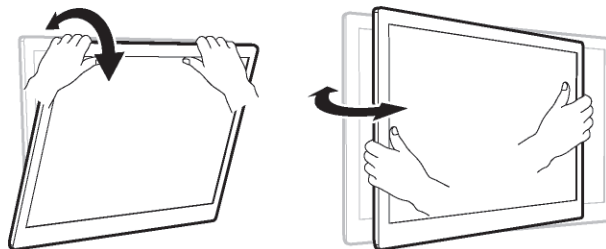
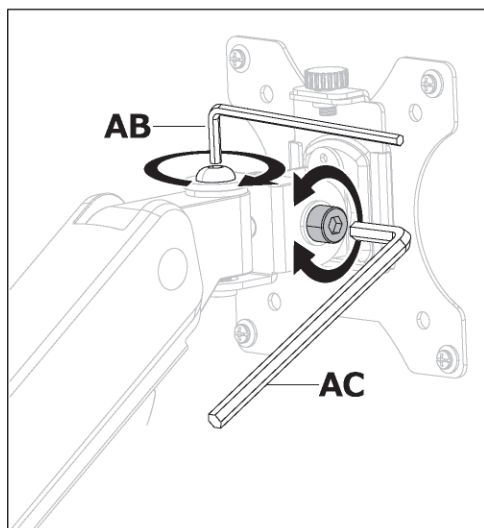
アームが下がる



適正

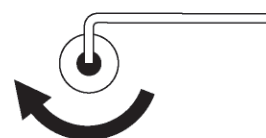
●チルト関節・左右首振りの固定力調整

アーム①③先端の関節が硬すぎて角度調節ができない場合や、緩くて角度が勝手に変わってしまう場合は、関節上面と側面のボルトを(AB)(AC)六角レンチを使用して下記手順にしたがって固定力を調整してください。



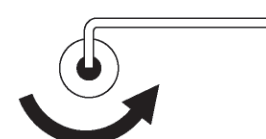
関節が緩い場合

調整ネジを時計回りに回してください。
調整ネジが締め、可動部分の固定力が
増します。



関節が硬い場合

調整ネジを反時計回りに回してください。
調整ネジが緩み、可動部分が動かしやすく
なります。



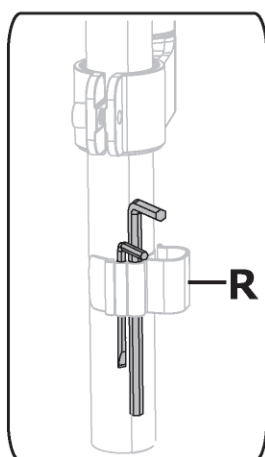
⚠ ネジの締めすぎに注意

※必ずモニターを手で支えながら、両手で作業を行ってください。

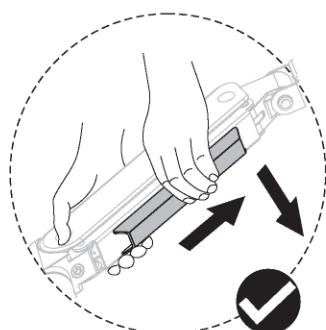
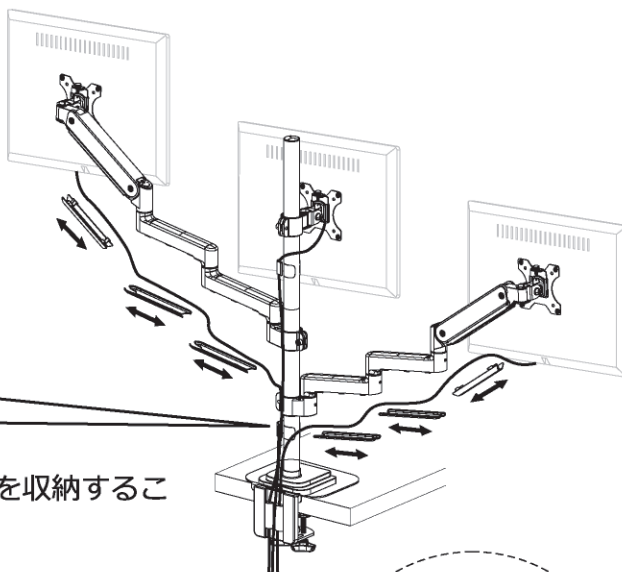
●ケーブル収納

アームの下部にケーブルを収納することができます。

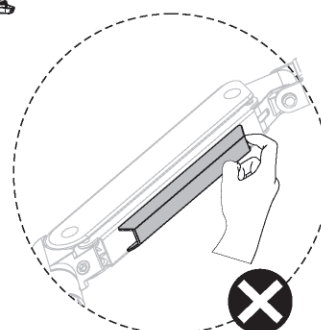
収納したケーブルはお好みの位置に取り付けた(R)ケーブルクリップを使用し束ねることができます。



ケーブルクリップには付属の六角レンチを収納することができます。



上方向にスライドしてから外してください。



スライドせず外すと破損します。